

公益社団法人郡山青年会議所
2020年度 事業報告

2020年度 庶務報告

1. 総会

会議名	月日	場所	審議事項
12月臨時総会	2019年12月14日	郡山ビューホテル	第1号議案 2020年度事業計画(案)承認に関する件 第2号議案 2020年度収支予算(案)承認に関する件
1月定時総会	2020年1月31日	郡山ビューホテル アネックス	第1号議案 2019年度事業報告(案)承認に関する件 第2号議案 2019年度決算報告(案)承認に関する件 第3号議案 2020年度遠征事業全員登録(案)承認に関する件
9月定時総会	2020年9月23日	郡山市中央公民館	第1号議案 2020年度補正予算(案)承認に関する件 第2号議案 2021年度役員選任(案)承認に関する件 第3号議案 2021年度監事選任(案)承認に関する件
12月臨時総会	2020年12月12日	ベルヴィ郡山館	第1号議案 2021年度事業計画(案)承認に関する件 第2号議案 2021年度収支予算(案)承認に関する件

2. 理事会

会議名	月日	場所	審議事項
次年度 第1回理事会	2019年10月4日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020年度新入会員所属並びに委員会構成(案)」承認の件 第2号議案 「(公社)郡山青年会議所 2020年度会費一括納入(案)」承認の件 第3号議案 「2020年度上程書・報告書(案)」承認の件 第4号議案 「(公社)郡山青年会議所 2020年度名義後援基準(案)」承認の件 第5号議案 「2020年度文書発送書類及び発送(案)」承認の件
次年度 第2回理事会	2019年10月9日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020年度理事長所信(案)」承認の件 第2号議案 「公益社団法人 郡山青年会議所 2020年度組織図(案)」承認の件 第3号議案 「公益社団法人 郡山青年会議所 2020年度委員会所属(案)」承認の件
次年度 第3回理事会	2019年10月30日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020年度職務分掌(案)」承認の件
次年度 第4回理事会	2019年11月18日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020年度常任理事会・理事会開催日時(案)」承認の件 第2号議案 「2020年度収支予算(案)」承認の件 第3号議案 「2020年度委員会事業計画」承認の件
次年度 第5回理事会	2019年12月9日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020年度1月定時総会上程議案(案)」承認の件 第2号議案 「2020年度1月例会・定時総会開催(案)」承認の件 第3号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催(案)」承認の件 第4号議案 「2021年度新入会員募集(案)」承認の件 第5号議案 「2020年度 広報誌発刊(案)」承認の件 第6号議案 「2020年度 ホームページ並びにSNS運営・企画・管理(案)」承認の件
第1回臨時 理事会	2020年1月4日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020年度 特別委員会委員選任(案)」承認の件 第2号議案 「(公社)郡山青年会議所 2020年度 理事長 柳沼 克郎 君 選定(案)」承認の件 第3号議案 「(公社)郡山青年会議所 2020年度 副理事長 伊藤 和樹 君 選定(案)」承認の件 第4号議案 「(公社)郡山青年会議所 2020年度 副理事長 金山 慶一 君 選定(案)」承認の件 第5号議案 「(公社)郡山青年会議所 2020年度 副理事長 柳沼 勝恵 君 選定(案)」承認の件 第6号議案 「(公社)郡山青年会議所 2020年度 専務理事 川村 憲司 君 選定(案)」承認の件
第1回理事会	2020年1月14日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020年度 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー開催(案)」承認の件 追加審議事項 第1号議案 「2019年度第13回理事会審議事項一括承認及び第13回理事会審議事項承認(案)」承認の件

会議名	月日	場所	審議事項
第2回理事会	2020年2月14日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「2020郡山市まちなか子ども夢駅伝競走大会 名義後援(案)」承認の件 第2号議案 「福魂祭 FUKUSHIMA SOUL 名義後援(案)」承認の件
			追加審議事項
第3回理事会	2020年3月13日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所 諸規定一部変更(案)」承認の件 第2号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催内容修正(案)」承認の件 第1号議案 「2020年度4月例会並びにチェリーパーティー開催(案)」承認の件 第2号議案 「第59回『久米賞・百合子賞』実行委員会設置(案)」承認の件
			追加審議事項
第4回理事会	2020年4月14日	WEB理事会	第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催内容修正(案)」承認の件 第1号議案 「渡邊晃君理事辞任(案)」承認の件 第2号議案 「2020年度1月例会・定時総会開催事業報告(案)」承認の件
			追加審議事項
第5回理事会	2020年5月15日	WEB理事会	第1号議案 「第121回郡山商工スポーツ野球大会 名義後援(案)」承認の件 第2号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催内容修正(案)」承認の件
			追加審議事項
第6回理事会	2020年6月15日	WEB理事会	第1号議案 「2020年度 広報誌発刊内容修正(案)」承認の件
			追加審議事項
第7回理事会	2020年7月14日	WEB理事会	第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催内容修正(案)」承認の件 第2号議案 「2020年度 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員セミナー開催内容修正(案)」承認の件 第3号議案 「ドライブinシアターふくしま 名義後援(案)」承認の件
			追加審議事項
第8回理事会	2020年8月11日	WEB理事会	第1号議案 「32万人の大合唱プロジェクト 開催(案)」承認の件 第1号議案 「2020年度 収支補正予算(案)」承認の件 第2号議案 「2020年度 9月定時総会上程議案(案)」承認の件 第3号議案 「2020年度9月例会・定時総会開催(案)」承認の件 第4号議案 「こおりやまサイクルクエスト 開催(案)」承認の件
			追加審議事項
第2回臨時 理事会	2020年8月21日	WEB理事会	第1号議案 「乳がん啓発キャンペーン『ピンクリボンin郡山』2020 名義後援(案)」承認の件 第2号議案 「2021年度東北青年フォーラム 主管文(案)」承認の件 第3号議案 「2021年度東北青年フォーラム 大会名(案)」承認の件 第4号議案 「2021年度東北青年フォーラム 大会スローガン(案)」承認の件 第5号議案 「2021年度東北青年フォーラム PRムービー(案)」承認の件
			追加審議事項
第9回理事会	2020年9月14日	WEB理事会	第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催内容修正(案)」承認の件 第2号議案 「2020年度10月例会並びに郡山JCクリーン作戦開催(案)」承認の件
			追加審議事項
第3回臨時 理事会	2020年9月28日	WEB理事会	第1号議案 「浜ONEプロジェクト 署名活動実施(案)」承認の件
			追加審議事項
第10回理事会	2020年10月14日	WEB理事会	第1号議案 「2020年度12月臨時総会並びに卒業式開催(案)」承認の件 第2号議案 「2020年度12月例会開催(案)」承認の件 第3号議案 「2020年度新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー開催事業報告(案)」承認の件 第4号議案 「2020年度11月例会並びに第59回『久米賞・百合子賞』授賞式開催(案)」承認の件
			追加審議事項
第11回理事会	2020年11月13日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度新入会員候補者決定(案)」承認の件 第1号議案 「2020年度12月臨時総会上程議案(案)」承認の件
			追加審議事項
			第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度褒賞(案)」承認の件 第2号議案 「2021年度新入会員候補者決定(案)」承認の件

会議名	月日	場所	審議事項
第12回理事会	2020年12月15日	WEB理事会	第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催補正予算(案)」承認の件
			第2号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2020年度例会開催報告(案)」承認の件
第12回理事会	2020年12月15日	WEB理事会	第3号議案 「2020年度9月例会・定時総会開催補正予算(案)」承認の件
			第4号議案 「2020年度9月例会・定時総会開催事業報告(案)」承認の件
第12回理事会	2020年12月15日	WEB理事会	追加審議事項
			第1号議案 「32万人の大合唱プロジェクト 開催補正予算(案)」承認の件
第12回理事会	2020年12月15日	WEB理事会	第2号議案 「2021年度新入会員候補者決定(案)」承認の件
			第3号議案 「2021年度東北青年フォーラムin郡山 横断幕(案)」承認の件
第13回理事会	2021年1月12日	WEB理事会	第1号議案 「2020年度10月例会並びに郡山JCクリーン作戦開催事業報告(案)」承認の件
			第2号議案 「2020年度12月臨時総会並びに卒業式開催事業報告(案)」承認の件
			第3号議案 「2020年度12月例会開催事業報告(案)」承認の件
			第4号議案 「2021年度新入会員候補者決定(案)」承認の件
			第5号議案 「2021年度新入会員募集 事業報告(案)」承認の件
			第6号議案 「2020年度 広報誌発刊 事業報告(案)」承認の件
			第7号議案 「2020年度 ホームページ並びにSNS運営・企画・管理 事業報告(案)」承認の件
			第8号議案 「第59回「久米賞・百合子賞」実行委員会設置 事業報告(案)」承認の件
			第9号議案 「2020年度11月例会並びに第59回『久米賞・百合子賞』授賞式開催事業報告(案)」承認の件
			第10号議案 「32万人の大合唱プロジェクト 開催事業報告(案)」承認の件
			第11号議案 「こおりやまサイクルクエスト 開催補正予算(案)」承認の件
			第12号議案 「こおりやまサイクルクエスト 開催事業報告(案)」承認の件
			第13号議案 「2021年度東北青年フォーラム PRムービー 事業報告(案)」承認の件
			第14号議案 「2021年度東北青年フォーラムin郡山 横断幕 事業報告(案)」承認の件
			第15号議案 「公益社団法人郡山青年会議所 2020年度褒賞事業報告(案)」承認の件
			第16号議案 「公益社団法人郡山青年会議所 2020年度事業報告(案)」承認の件
			第17号議案 「公益社団法人郡山青年会議所 2020年度収支決算報告(案)」承認の件

公益社団法人郡山青年会議所 2020年度年間事業

日時		業務報告
1月 4日	11:10～	新年祈禱 / 場所：安積国造神社
1月 4日	13:00～	第1回 臨時理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月 4日	14:00～	第1回 常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月 5日	17:00～	会津青年会議所新年会 / 場所：会津若松ワシントンホテル
1月 6日	16:30～	賀詞交歓会 / 場所：ホテルハマツ 郡山青年会議所OB会総会・新年会 / 場所：ホテルハマツ
1月 9日	18:30～20:30	(一社) 南陽青年会議所新春賀詞交歓会 / 場所：熊野大社證誠殿
1月 10日	18:30～	郡山医師会新年会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 14日	19:00～	第1回理事会 / 郡山青年会議所事務局
1月 15日	16:00～	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
1月 15日	18:30～	郡山市PTA連合会新春教育懇談会 / 場所：ホテルハマツ
1月 16日	12:30～13:30	郡山ロータリークラブ卓話 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 17日		京都会議（～19日） / 場所：京都
1月 18日	19:00～	郡山歯科医師会新年会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 21日	18:00～	郡山市文化団体連絡協議会新春交流会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス4階
1月 22日	19:30～	だて青年会議所新年会 / 場所：セレビア スカイパレス
1月 23日	18:00～	本名徹次氏を囲む会 / 場所：郡山ビューホテル
1月 23日	19:00～	二本松青年会議所新年会 / 場所：ウェディングパレスかねすい
1月 24日	13:00～16:10	令和元年度家庭教育応援プロジェクト「第2回地域家庭推進県中ブロック会議」 / 場所：郡山合同庁舎
1月 27日	18:00～20:00	公益社団法人郡山青年会議所新年会 / 場所：郡山ビューホテル 4階パラシオ
1月 28日	17:00～	郡山商工会議所「知事を囲む新春議員懇談会」 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 28日	19:00～	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月 29日	18:30～	会津坂下青年会議所新年会 / 場所：わたや
1月 31日	18:00～20:50	1月例会・定時総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 3階 雲水峰
1月 31日	19:00～	白河青年会議所新年会 / 場所：東京第一ホテル新白河

2月 1日	15:00~17:30	第1回会員会議所会議 / 場所: 伊達福祉センター 大会議室
2月 2日	09:30~10:10	SDGs推進共同宣言文調印式 / 場所: 伊達市ふるさと会館 研修室
2月 2日	10:30~11:30	安全保障について国民的議論を巻き起こす事業実施について / 場所: 伊達市ふるさと会館 展示室
2月 2日	10:30~11:30	講演会「災害ボランティアと地域共生社会づくり」 / 場所: 伊達市ふるさと会館展示室
2月 2日	13:00~	アカデミー委員会開校式 / 場所: 伊達市ふるさと会館 MDDホール
2月 2日		「新春の集い」 / 場所: 伊達市ふるさと会館 MDDホール
2月 2日	13:30~	郡山商工会議所青年部創立35周年記念講演会・記念式典・祝賀会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
2月 3日	19:00~	第2回 常任理事会 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
2月 4日	10:00~	国土緑化郡山市推進委員会 / 場所: 郡山市役所西庁舎
2月 4日	19:00~	いわき石川青年会議所新年会 / 場所: 母畑温泉 八幡屋
2月 5日	13:30~15:30	郡山市「少年の主張」コンクール発表大会 / 場所: 郡山市立中央公民館
2月 5日	19:00~	OB役員並びに現役役員初顔合わせ / 場所: 郡山ビューホテルアネックス舟津
2月 6日	19:00~	須賀川青年会議所新年会 / 場所: グランシア須賀川
2月 8日		東北ゼミナール開校式 / 場所: 仙台
2月 10日	18:30~	田村青年会議所新年会 / 場所: 迎賓館辰巳屋
2月 14日	19:00~	第2回 理事会 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
2月 19日	19:00~	「久米賞・百合子賞」勉強会(第4回広報委員会) / 場所: 市民交流プラザ第1会議室
2月 20日	19:00~	2月例会 / 場所: 郡山市労働福祉会館 3階大ホール
2月 24日	18:00~	第2回県南エリア会議 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
2月 25日	19:00~	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
2月 26日	16:30~	福島県青年団体連絡協議会 第11回特別交流会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス3階 雲水峰
2月 26日	18:40~	福島県青年団体連絡協議会 懇親会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス3階 雲水峰
2月 26日	19:00~	議案書セミナー / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月 1日	19:00~	第3回 常任理事会 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月 4日	19:00~	第2回会員会議所会議 / 場所: WEB会議
3月 13日	19:00~	第3回 理事会 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局

3月 18日	10:00～	こおりやま産業博実行委員会 / 場所：郡山商工会議所
3月 25日	19:00～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月 26日	19:00～	3月例会 / 場所：WEB例会
4月 1日	19:00～	第4回 常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
4月 8日	19:00～21:00	第3回会員会議所会議 / 場所：WEB会議
4月 14日	19:00～	第4回 理事会 / 場所：WEB会議
4月 20日	19:00～	東北青年フォーラムin郡山第2回準備委員会 / 場所：WEB会議
4月 21日	19:00～	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
4月 22日	19:00～	4月例会 / 場所：WEB例会
5月 8日	19:00～	第5回常任理事会 / 場所：WEB会議
5月 14日	19:00～	第4回 会員会議所会議 / 場所：WEB会議
5月 15日	19:00～	第5回 理事会 / 場所：WEB会議
5月 21日	19:00～	5月例会 / 場所：WEB例会
5月 26日	19:00～	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
6月 1日	19:00～	第6回 常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
6月 2日	19:00～	第3回 東北青年フォーラム準備委員会 / 場所：WEB会議
6月 15日	19:00～	第6回 理事会 / 場所：WEB理事会
6月 23日	19:00～	東北青年フォーラムin郡山第4回準備委員会 / 場所：郡山市労働福祉会館 中ホール
6月 24日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
6月 25日	19:00～	6月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
6月 28日	19:00～	新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局並びにWEB
7月 1日	19:00～	第7回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月 3日	19:00～	第6回 役員会議 / 場所：公益財団法人白河青年会議所 事務局
7月 4日	19:00～	第6回 会員会議所会議 / 場所：WEB会議
7月 4日	21:00～	第50回 福島ブロック協議会in白河 記念式典 LIVE配信 / 場所：YouTube
7月 9日	13:30～	中間会計監査・事業監査 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局

7月 14日	19:00～	第7回理事会 / 場所：WEB会議
7月 15日	10:30～	郡山市明るい祭礼推進委員会会計監査 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月 17日	19:00～20:00	第3回わんぱく相撲ブロック大会運営協議会 / 場所：WEB会議
7月 22日	19:00～	7月例会 / 場所：郡山市労働福祉会館
7月 24日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月 26日	18:00～	NPO法人郡山農学校総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
7月 28日	10:00～16:00	公益社団法人立入検査（福島県公益認定等審議会来局） / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月 30日	19:00～	第8回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
8月 5日	11:00～	郡山家庭教育を支援する会来局 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
8月 5日	19:00～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
8月 11日	19:00～	第8回理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
8月 20日	19:00～	8月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
8月 21日	19:00～	第2回臨時理事会 / 場所：WEB会議
8月 25日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
8月 27日	19:00～	臨時財政審査会議 / 場所：WEB会議
8月 28日	19:00～21:00	第59回「久米賞・百合子賞」読み合わせ会 / 場所：市民交流プラザ
8月 29日	13:00～17:50	東北WEBカンファレンス2020 / 場所：WEB配信
9月 1日	18:00～	第7回役員会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
9月 1日	19:00～	第9回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
9月 2日	15:00～	第7回会員会議所会議 / 場所：WEB会議
9月 13日	17:00～	第80回「あぐり市」記念講演会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
9月 14日	19:00～	第9回理事会 / 場所：WEB会議
9月 15日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
9月 23日	18:00～	9月例会・定時総会 / 場所：郡山市中央公民館多目的ホール
9月 24日	17:30～	臨時財政審査会議 / 場所：WEB会議
9月 28日	19:00～	第1回臨時常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局

9月 28日	19:30～	第3回臨時理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
9月 29日	18:00～	第59回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第2回委員会 / 場所：郡山市役所 教育委員会室
9月 30日	18:30～	財政審査会議 / 場所：WEB会議
10月 1日	19:00～	第10回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
10月 4日	10:00～17:00	郡山市音楽の日 / 場所：郡山駅西口駅前広場
10月 6日	17:00～	第8回役員会議 / 場所：保原町中央公民館 大会議室 3階
10月 7日	17:00～	第8回会員会議所会議 / 場所：伊達市保原市民センター
10月 14日	19:00～	第10回理事会 / 場所：WEB会議
10月 18日	13:00～	こおりやまおどり郡山芸妓お座敷文化紹介 / 場所：郡山市中央図書館 視聴覚ホール
10月 19日	11:00～13:00	「小学生の税に関する標語」審査会 / 場所：郡山法人会会館
10月 21日	18:30～	郡山青年会議所OB会第3回役員会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
10月 22日	18:00～	第59回「久米賞・百合子賞」最終審査会 / 場所：郡山市労働福祉会館 大ホール
10月 22日	19:30～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
10月 25日	06:40～07:30	郡山JＣクリーン作戦 / 場所：郡山駅前（大町周辺～中町・陣屋周辺）
10月 25日	09:00～	10月例会 / 場所：緑水苑 テントハウス
10月 28日	19:00～	第11回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
11月 3日		世界会議横浜大会（～7日） / 場所：横浜実地開催+online
11月 3日	08:00～15:00	こおりやまサイクルクエスト / 場所：郡山市内各所（郡山カルチャーパーク・ヤギヌマ流通サービス・水橋・大久保神社）
11月 10日	17:10～18:00	「小学生の税に関する標語」表彰式 / 場所：ホテルハマツ
11月 13日	13:10～14:10	郡山市豊かな長寿社会いきいきふれあいの集い / 場所：郡山市文化センター
11月 13日	16:30～17:00	ビッグツリーページェント・フェスタIN KORIYAMA オープニングセレモニー / 場所：郡山駅前西口広場
11月 13日	19:00～	第11回理事会 / 場所：WEB会議
11月 14日	13:30～	郡山市青少年健全育成推進大会 / 場所：郡山市中央公民館
11月 20日	19:00～	歴代理事長を囲む会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 4F花勝見
11月 21日	13:00～	第59回「久米賞・百合子賞」授賞式 / 場所：郡山市労働福祉会館
11月 21日	15:00～	11月例会 / 場所：郡山市労働福祉会館

11月 21日	16:50~17:30	成果発表「アカデミー発組織改革論」 / 場所：郡山市労働福祉会館
11月 21日	17:30~	第9回役員会議 / 場所：セレビアスカイパレス
11月 22日	13:00~	第9回会員会議所会議 / 場所：パルセいいざか
11月 22日	15:00~15:30	ブロック大会旗伝達式 / 場所：パルセいいざかコンベンションホール
11月 22日	16:00~16:40	アカデミー閉校式 / 場所：パルセいいざかコンベンションホール
11月 22日	17:30~19:30	ブロック協議会卒業式 / 場所：パルセいいざかコンベンションホール
11月 25日	15:20~16:20	奥羽大学歯学部講義「郡山学/福島学」 / 場所：奥羽大学講義棟
11月 25日	19:00~	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
11月 29日	17:00~20:00	東北地区協議会卒業式 / 場所：江陽グランドホテル
12月 1日	19:00~	第12回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
12月 12日	13:10~13:40	12月臨時総会 / 場所：ベルヴィ郡山館4階 ベルヴィ
12月 12日	14:00~19:00	(公社) 郡山青年会議所卒業式 / 場所：卒業式 / 場所：ベルヴィ郡山館4階 ベルヴィ
12月 15日	18:30~	郡山青年会議所OB会第3回役員会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
12月 15日	19:30~	第12回理事会 / 場所：WEB会議
12月 16日	15:30~19:20	12月例会 / 場所：郡山市中央公民館
12月 22日	18:00~	第59回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第3回委員会 / 場所：郡山市役所教育委員会室
1月 6日	19:00~	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月 8日	10:00~	2020年度会計監査・事業監査 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月 12日	15:00~	第13回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月 12日	19:00~	第13回理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局

常任理事報告

副理事長報告

副理事長 伊藤 和樹

本年度、副理事長という重責をお預かりさせていただきました。柳沼理事長が掲げる「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り開くため～」のスローガンのもと、創立より変わらずに紡がれてきた先輩諸氏の志と想いを、メンバーに継承しました。また、公益法人格を有する団体として相応しい事業構築や組織運営についても指導、助言し今後を見据えた人材の育成や青年会議所運動の本質をメンバーにしっかりと伝えてきました。

しかし本年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、計画していた事業の多くを中止や変更をよぎなくされましたがメンバー一人ひとりがまちのため、ひとのために切磋琢磨しながら妥協なき議論を交わし、今できることを本気で考え実行したことで、大きな一步を踏み出せたと思います。このような経験をさせていただきました、柳沼理事長をはじめとするメンバーの皆様に感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。一年間、ありがとうございました。

副理事長 金山 慶一

本年度は「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」のスローガンのもと、先輩諸氏から連綿と受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統を一年間現役会員へと伝えてまいりました。また、2020年度当初より新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、一時は緊急事態宣言も発令された中での公益法人格を有する団体として相応しいLOMの運営、事業の構築や実施において、非常に判断が難しい場面が多々ございましたが、現状を打破するべく現役会員一人ひとりが主役となり、まちのためひとのために活動し、飛躍の一步を踏み出すことができました。最後となりますが本年度、副理事長という重責を与えていただきました柳沼理事長をはじめ現役会員の皆様に感謝するとともに、本年度得た気づきや学びを今後のJC運動・活動に活かすことをお約束させていただき、報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

副理事長 柳沼 勝恵

本年度、「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！！～一人ひとりが主役となり新たな時代を切り開くために～」のスローガンのもと、LOMの要である副理事長としてLOMの運営や事業構築についてサポートしてまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、年当初の事業計画から大きな方向転換が求められる一年となりました。日々状況が変わり、組織としての決断が迫られるなか、常任理事メンバーを中心に議論を重ね、柳沼克郎理事長の強いリーダーシップのもと、メンバー全員が飛躍の一步を踏み出すこと

ができたものと確信しております。だれも経験したことの無い状況のなか、運動を止めることなく、時代に合った運動を展開した2020年度は、私自身大きな気づきと学びを得ることができる貴重な機会となりました。この経験を次年度以降にしっかりと繋げてまいります。最後になりますが、本年度副理事長という重責を与えてくださいました、柳沼克郎理事長をはじめ、お支えいただいた現役メンバーの皆様全員に感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

特別局長報告

事務財政局特別局長 松川 義行

本年度、「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」のスローガンの下、公益社団法人としての活動が円滑に進められるように、事務財政局メンバー一丸となって取り組ませていただきました。

具体的には、専務理事の業務全般を補佐するとともに、諸会議を円滑に行えるよう、各委員会の議案上程スケジュールの管理、財政審査会議による議案書の事前審査、アジェンダシステムの運用等の業務を行ってまいりました。また、本年度に特徴的な活動としては、就業規則、褒章規定及び事務局運営細則を時代に即したものに改正する作業を行うとともに、新型コロナウイルス流行に伴って諸会議をZOOMにて行えるよう環境を整備いたしました。

この1年間、常任理事の一員である事務財政局特別局長という役職を担当させていただき、研鑽する機会を数多く与えていただきました。このような貴重な経験の機会を与えていただきました柳沼克郎理事長を始めとする全ての現役メンバーの皆様感謝申し上げます、御報告とさせていただきます。

室長報告

指導力開発室室長 芝田 銀平

2020年度の指導力開発室は、柳沼克郎理事長の掲げる「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」のスローガンのもと、会員拡大活動と広報活動を展開してまいりました。

伊藤委員長率います会員開発委員会では「戮力協心～強い意志を持って同志を集め共に明日の一步に繋げよう！～」を委員会スローガンに掲げ、会員の資質向上と会員拡大活動を展開してまいりました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が延期・中止を余儀なくされました。3月に開催予定であった「新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー」は6月に延期となり、4月例会並びにチェリーパーティは中止となってしまいました。また、引率を予定していた全国大会札幌大会は現地での開催は中止となりWEDのみの開催に変更となりました。延期となり6月の開催となった「新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー」ではニューノーマルという

時代での新しい可能性を模索し、新入会員にはJ Cの意義や社会に求められる役割を学んでいただく機会となり、現役会員には情報化する社会のなかでますます重要となるネットリテラシーについて学んでいただきました。また会員拡大への取り組みとして本年は「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」のスローガンのもと一人ひとりが当事者意識を持って会員拡大活動に取り組んでいただくために各委員会より拡大担当一名を選任し、LOM一丸となって会員拡大活動を進めてまいりました。その結果として2021年度は11名の新たな同志を迎え入れることができました。

長尾委員長が率います広報委員会は「SETUP～未来に1歩を踏み出すために～」をスローガンにSNSそれぞれの媒体の特性を理解し、情報の内容やターゲットから最適なものを選択することで、郡山青年会議所の想いを効果的に伝えていく広報活動に務めてまいりました。しかしながら、多くの事業が開催中止や延期を余儀なくされるなかで広報誌は発刊月を変更する事態となり、9月に開催予定であり引率を予定していた東北青年フォーラム in 南陽は残念ながら中止となってしまいました。広報委員会の活動と致しましては6月に延期となった「新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー」において会員開発委員会と協力をしながら設営に取り組みました。11月には歴史と伝統のある「第59回久米賞・百合子賞授賞式」を開催いたしまして、今年度は郡山市内の中学三年生より多くの作品をご応募いただきました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のための全国一斉休校もあり作品数の減少が懸念されておりましたが委員会一丸となって各学校にご依頼を行ったことで震災後最多の408作品の応募をいただくことができました。文学賞の歴史と伝統を継承し、青少年に向けて発信することで他者に想いを伝えることの大切さや文学に関わることのすばらしさを広く一般市民に伝えることで青少年の文学に対する芽を育み、青少年健全教育を推進いたしました。また一年間にわたり広報誌の発刊やホームページの運営管理を行い郡山青年会議所の運動・活動を対内外へ発信し多くの共感を広げることができたと感じております。

最後に指導力開発室として両委員会とJ C運動・活動を行わせていただき、室長として両委員会のメンバーに支えられながら一年間を全うすることができました。今回、室長としての貴重な機会を与えていただいた柳沼克郎理事長、川村憲司専務理事、そしてLOMメンバーの皆様へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

未来室室長 松井 貴紀

2020年度の未来創造室は、まちづくり委員会が「Re:Birth 楽都から未来へ繋ぐハーモニー」の委員会スローガンを掲げ「32万人の大合唱プロジェクト」を、青少年育成委員会が「GRIT～未来の宝を育もう～」の所信のもとに「こおりやまサイクルクエスト」を、両委員会とも非常時に適した形で実行し、柳沼理事長が掲げる「気概をもって飛躍の一步を踏み出そう～一人一人が主役となり新たな一步を踏み出すために～」の

実現に向け運動を展開して参りました。

まちづくり委員会の「32万人の大合唱プロジェクト」では、広報活動から応募、配信をWEB上で行い、YouTubeというツールから音楽の力を発信する事業を展開しました。応募組数206組、総参加者数401名、うち市外からの応募が54%という結果も、郡山市民と市外に住まう人々を新しい形で繋ぎ、楽都郡山の持つ音楽の力、そして郡山青年会議所の運動を市内だけでなく全国へ発信させる新たな一步を踏み出したということを表しています。

青少年育成委員会は、1月の京都会議引率を担当し、2020年度の日本青年会議所の基本理念・会頭所信を共有する場として、多くのメンバーで参加し、今年一年の方針を享受することができました。11月の「こおりやまサイクルクエスト」では、コロナ渦において確立されつつある生活様式を考慮したスタイルで、「集客する事業」を開催しました。多くの制限を設けながらも、子どもたちの「生きる力」を醸成するために各方面との打ち合わせを重ねに重ね、延べ87名の参加者を集め、多くの市民へ「GRIT」を共有してもらえる事業とすることができました。

結果として両委員会とも褒章の対象となることができ、その客観的評価も、両委員会メンバーがJAYCEEとしてやるべきことの明確化に繋がったと思います。計画段階と手法を変えて、制限を設けての着地とはなりましたが、思考の転換により大成功の一年とすることができました。

最終年度に、このような機会を与えてくださった柳沼理事長、そして未来創造室の運動・活動を支えてくださった全てのメンバーの皆様に感謝申し上げ、2020年度未来創造室の報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

2020年度 総務委員会

委員長 二瓶 一嘉
副委員長 根本 太介
副委員長 佐藤 尚弥
副委員長 黒田 大輔

★委員会スローガン

和衷協同

～未来を切り拓くために～

★事業方針

郡山青年会議所は、全国で197番目の会員会議所として誕生し、いつの時代も新たな価値を見出しまちづくり・ひとづくりを通して「明るい豊かな社会の実現」のために59年間の長きに亘り歩みを進めてきた。総務委員会は、各委員会がまちづくり・ひとづくりに専心できるよう郡山青年会議所を支え続けてきた。そして、志を同じくし郡山青年会議所に入会した新入会員とスタッフが共に運動・活動をする中で、自己修練を図る委員会である。

新入会員は、例会や各種会議の設営、毎月の文書発送を通じて郡山青年会議所の運動の背景・目的を理解し基礎を学び、各種事業や遠征事業に積極的に参加することにより、自己修練を図り資質向上へと繋げ、同志と切磋琢磨することで友情を育む。また、新入会員は先輩諸氏や現役会員と積極的に交流することで歴史・伝統、精神を学び郡山青年会議所会員としての誇りを持ち、姉妹締結から45年以上に亘り友情を育んできた奈良青年会議所と深く交流することで、更なる友情へと繋げる。新入会員を導くスタッフは、模範となるべく率先して行動し、自己修練に努め、新入会員に対して青年会議所運動・活動の意義・目的を浸透させ郡山青年会議所の運動・活動を支える。

総務委員会メンバー一人ひとりが当事者意識を持ち、これまで先輩諸氏から受け継がれてきた歴史・伝統、そして「修練」・「奉仕」・「友情」のJC三信条の精神を理解し、歩みを止めず運動することで自己成長に繋がりを、青年会議所運動・活動へ誇りを持ち郡山青年会議所を担う人財へ成長することができる。それが、一人ひとりの一歩から郡山青年会議所の大きな一歩へと繋がり、郡山青年会議所の更なる発展、郡山の明るい豊かな社会の実現へ導くことができる。

★事業計画〔開催予定月〕

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| 1. 新入会員の教育・指導 | 〔通年〕 |
| 2. 例会の設営 | 〔通年〕 |
| 3. 文書発送 | 〔通年〕 |
| 4. 新年会の設営 | 〔1月〕 |
| 5. 定時総会の設営 | 〔1月・9月〕 |
| 6. 会員親睦事業の企画運営 | 〔10月〕 |
| 7. 福島ブロック大会 in 白河参加引率 | 〔7月〕 |
| 8. うねめまつり参加引率 | 〔8月〕 |
| 9. 奈良公式訪問 | 〔9月〕 |
| 10. 卒業式の企画運営 | 〔12月〕 |
| 11. 常任理事会・理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務 | |
| 12. 総会資料、会員名簿・名刺の作成 | |
| 13. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 14. その他理事長所信に基づき行う事業 | |

1. 新入会員の教育・指導

本年度は、新型コロナウイルスの蔓延により例会や各種会議の設営、各種事業や遠征事業など形を変えての開催や事業中止に伴い例年より様々な経験を得る機会が減ったなかではあったが、数少ない機会のなかでも切

磋琢磨し自己成長へ繋げることができた。新入会員10名でスタートした本年度は時には足並みがそろわない場面もあったが、後半に向けて互いに助け合い一年間を通してJC運動・活動に取り組むことができた。

2. 例会の設営

① 1月例会

2020年度の最初の例会設営ということでスタッフ、新入会員が共に良い緊張感を持ち例会設営に取り組むことができた。柳沼理事長より「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」のスローガンのもと、2020年度に懸ける想いについてご挨拶いただいた。また、会務報告や出向者報告では一年間の懸ける想いが述べられ全員で意識の共有ができた。設営においては事前準備不足により設営やリハーサルなどに時間が取られる場面が見受けられ、今後の課題が見つかる貴重な例会となった。

② 2月例会

2月例会の設営では、新入会員がセレモニーを初めて担当する例会ということもあり、総務委員会が一丸となり良い緊張感を持ったなかで行うことができた。タイムスケジュールにおいても各報告者のご協力もあり、ほぼ予定時間内で進めることができた。新入会員のセレモニーにおいては、所作にメリハリを持たせるなどの課題も見つかる貴重な例会となった。

③ 3月例会

3月例会は、新型コロナウイルスの感染拡大により初めてのメーリングを活用した報告例会とした。理事長挨拶や会務報告、出向者報告を事前に記載いただき全体メーリングへ配信し情報共有させていただいた。メーリングを活用した例会では、どの程度情報共有されているか明確ではないなど課題も見つけ今後の例会開催の手法など検討が必要だと感じさせられる例会となった。

④ 4月例会

4月例会も新型コロナウイルス感染防止の観点から初めてZOOMを活用したWEB例会となった。理事長挨拶や会務報告、出向者報告などZOOMを活用して多くのメンバーに情報共有をいただいた。総務委員会としては、会務報告者や出向者報告者の事前連絡や情報共有がうまくできていない部分や退出時のアナウンスの役割が明確でないなど課題も見つかるWEB例会となった。

⑤ 5月例会

5月例会もZOOMを利用したWEB例会とした。参集しての例会よりも多くのメンバーに参加いただき多くのメンバーと情報共有を図ることができた。設営においては、事前にリハーサルを実施したがパワーポイントの切り替えのタイミングなどWEB例会での課題も見つかる例会となった。

⑥ 6月例会

政府の緊急事態宣言解除後、2月例会以来となる参集しての例会開催となった。設営においては、席と席の間隔を空け、常時換気を行うなどショーシャルディスタンスを意識し試行錯誤しながら設営させていただいた。また、来場前の検温や入場前のアルコール消毒など新しい生活様式に準じて例会開催をさせていただいた。久しぶりに顔を合わせるメンバーもいて話に花を咲かせるなど集合しての例会開催の重要性を改めて認識した例会となった。

⑦ 7月例会

7月例会は次年度理事長への当選証書授与が行われる特別な例会ということもあり、新入会員に事前に非常に意味のある重要な例会ということを伝え、設営において良い緊張感をもって臨むことができた。多くのOB会会員の先輩方にご参会いただき、いつもとは違う雰囲気なかで設営を行うことができたのは総務委員会全員にとっても非常に良い経験となった。

⑧ 8月例会

郡山市郡山公会堂での2回目の設営ということもあり、前回の例会設営などの反省点も踏まえてスムーズに行うことができた。数少ない例会設営のなかでも油断やミスに繋がらないようにリハーサルから良い緊張感を持ち臨むことができ、新入会員の成長を感じることができた例会であった。

⑨ 9月例会

9月例会は定時総会と同日開催ということもあり、時間に余裕を持って例会設営に臨んだがリハーサル不足もあり例会から定時総会へスムーズに移行することができずに定時総会の開始時刻に遅れが生じてしまった。事前準備とリハーサルの重要性を大いに痛感させられて例会であった。

⑩ 10月例会

10月例会は、日曜日の朝早い時間帯からの例会開催ということも普段より少ない参加者となってしまった。また、初めて利用する屋外での会場ということもあり、不慣れな点や予想外の状況も生じてしまい、より実践的なリハーサルやシミュレーションが必要であると感じさせられる例会であった。

⑪ 11月例会

郡山市労働福祉会館は3回目の会場でもあり、今年度初めての他の委員会との合同設営ではあったが、事前の準備段階から新入会員、スタッフが自分の役割を意識し例会に臨むことができた。

⑫ 12月例会

2020年度最後の例会ということもあり、早い時間帯から開催にも関わらず多くのメンバーとOB会会員の先輩方にもご参加いただくことができた。設営においては、本年度最後の例会ということもありリハーサルから褒賞委員会や会員選考委員会と綿密な打ち合わせを行った結果、タイムスケジュールも大幅な遅れもなく滞りなく終えることができた。

3. 文書発送

毎月15日を基本とし、OB会会員、現役会員に事業案内等の文書、広報誌を発送した。

4. 新年会の設営

新年会では、多くのご来賓、来訪JC、OB会会員の先輩方にご参会いただき、2020年度柳沼克郎理事長体制を対外へ広く発信することができた。設営面においては、細かな不備やアクシデント等もあり総務委員会としては反省の残る結果となったが、参加いただいたメンバーの皆様のご協力もあり盛會に終えることができた。

5. 定時総会の設営

① 1月定時総会

議長に菅野豊晴君、副議長に熊田智一君を選任しての総会となり、スムーズな議事進行のもと2019年度事業報告、2019年度決算報告、2020年度遠征事業全員登録の重要な議案が全員賛成で審議可決いただくことができた。設営や資料においては細かな不備が見られ今後の課題が残る定時総会となった。

② 9月定時総会

9月定時総会では、良い緊張感を持ち設営に臨み、OB会会長をはじめとする多数のOB会会員の先輩方がご参会のなか、六角陽佳議長、鄭勇哲副議長の議事進行のもと、本年度の補正予算、次年度の役員、監事の選任といった重要な議案を全員賛成にて可決承認され、無事に2021年度のスタートを切ることができた。

③ 12月臨時総会

当日は卒業式、送別会ということもあり土曜日の早い時間帯にも関わらず多くのメンバーにご参加いただいた。丸山雄平議長、樽川明広副議長の議事進行のもと2021年度事業計画、2021年度収支予算について全員賛成にて可決承認いただいた。設営においては、3回目の総会ということもあり一人ひとりが役割を意識して能動的に行動できた。

6. 会員親睦事業の企画運営

当初5月開催で計画していた会員親睦事業であったが、新型コロナウイルスの蔓延や政府による緊急事態宣言の発令により10月に開催させていただいた。活動するエリアの駅前を中心に郡山JCクリーン作戦を開催させていただき、普段あまり親睦を深めることの少ないメンバー同士が6つのグループに分かれて清掃活動を実施した。また、道路の破損箇所や危険箇所などFixMyStreetJapanを用いて郡山市に対して

報告を行った。新入会員が中心となり企画設営を行い新入会員にとってとても貴重な経験となった。

7. 福島ブロック大会 in 白河参加引率

本年度は、新型コロナウイルスの蔓延や政府による緊急事態宣言の発令に伴いWEB配信型のブロック大会となったため引率は実施しなかった。WEB配信型のブロック大会ということもあり、視聴していないメンバーもいたことから引率担当委員会としてもブロック大会の重要性を伝え視聴するように促すべきであった。

8. うねめまつり参加引率

本年度は、新型コロナウイルスの蔓延によりうねめまつり始まってから初となる中止となった。例年は、一般社団法人奈良青年会議所のメンバーの皆様をお迎えして郡山青年会議所のメンバーと交流を図る場であったが、中止となってしまい非常に残念であった。

9. 奈良公式訪問

新型コロナウイルスの蔓延により奈良の采女祭りは花扇奉納神事のみ斎行され、奈良公式訪問も中止となった。本年度は姉妹JCの絆を深める機会が失われ非常に残念であった。

10. 卒業式の企画運営

本年度は、14名のご卒業生のこれまでのJC活動に対して感謝と敬意を表し、総務委員会一丸となり企画、設営に取り組んだ。コロナ禍のなかでの開催ということもあり、開催場所の選定や実施方法の検討など非常に難しい卒業式ではあったが、ご卒業生やメンバーの皆様のご協力もあり盛大に開催することができた。設営においては資料の不備や細かな不備が見受けられ、事前準備の重要性やチェック体制の重要性を再認識する機会となった。

11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務

毎月開催された常任理事会と理事会の設営、議事録作成を行なった。

12. 総会資料、会員名簿・名刺の作成

定時総会、臨時総会、会員名簿、名刺の作成を行なった。

13. 会員拡大に関する情報収集

新たな情報を持っている新入会員を中心に情報収集や声かけなど積極的に行った。

14. その他理事長所信に基づき行う事業

本年度は機会の提供、経験という部分では数少ない年となってしまったが、新入会員は毎月の例会設営や各種会議、文書発送、セクレタリー、そして様々な事業などを通して郡山青年会議所の基本を学び、これからの郡山青年会議所を担う人財へ成長した。教育する立場にあるスタッフも常に新入会員に寄り添い、良き手本となるよう行動し、共に成長することができた。

和衷協同のスローガンのもと一年間活動し、新入会員全員が青年会議所運動・活動へ誇りを持ち、歩みを止めずに活動することができた。新入会員だけではなく、総務委員会全員がこの経験を次年度以降へしっかりと活かし、飛躍の一步を踏み出していただけると確信している。最後にこのような機会をいただいた柳沼理事長、川村専務理事、そして総務委員会にご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げ一年間の報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

2020年度 会員開発委員会

委員長 伊藤 千拓

副委員長 瀬戸 宏和

★委員会スローガン

戮力協心

～強い意志を持って同志を集め 共に明日の一步に繋げよう！～

★事業方針

時代の変化により個人の価値観も多様化し様々な団体が設立されている。そのため青年経済人が加入する団体の選択肢が増加したことで、郡山青年会議所に入会する会員も減少傾向にあり、互いに高め合う機会が減少し我々が目指す明るい豊かな社会の実現が困難な状況にもなりかねない。これからも我々が地域の発展に貢献する価値ある組織であり続けるためには、会員がJC運動・活動を通じて自己を磨き魅力ある人財となり、一丸となって新たな同志を増やし組織の成長に繋げていくことが必要不可欠である。

会員開発委員会では、会員がOB会の先輩諸氏と積極的に交流をする場を提供し、郡山青年会議所の歴史や伝統を学びJCに対しての価値観を共有することで高い意識で行動し一体感を確立する。また、同じ目標や目的を共有する機会をつくり、同じ志を持って率先して事業に参加することによって、自己を磨き会員としての魅力を醸成する。さらには、新たな目標を掲げ全会員で情報を共有し会員拡大を行うことで一人ひとりに当事者意識が生まれ、役割を理解し行動することで多くの青年経済人に郡山青年会議所の魅力が伝わり会員拡大に繋がる。

これらの運動・活動を行い会員同士が切磋琢磨することで自己成長の一步に繋がり、その一步が郡山青年会議所の成長となり魅力となる。そして、一人ひとりが気概を持った人財となり、これまで以上に必要とされる価値ある組織となることで明るい豊かな社会の実現に繋がっていく。

★事業計画 [開催予定月]

1. 新入会員オリエンテーション

- | | |
|------------------------|------|
| 並びに現役会員向けセミナーの実施（室合同） | 〔2月〕 |
| 2. 4月例会・チェリーパーティの企画・運営 | 〔4月〕 |
| 3. 全国大会札幌大会引率 | 〔9月〕 |
| 4. OB会会員との交流 | 〔通年〕 |
| 5. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 6. その他理事長所信に基づき行う事業 | 〔通年〕 |

参考：会員募集スケジュール

※面接等個別に進められることは随時対応する。

- | | | |
|-------|-----|--|
| 2019. | 12月 | 会員拡大用候補者リスト作成及びリスト精査 |
| 2020. | 1月 | 個別目標設定・各委員会への候補者紹介ご依頼
個別面談・リスト精査及び作成・配布開始
(新入会員候補者・現役会員・OB会員に配布) |
| | 2月 | 個別面談・面接実行 |
| | 3月 | 個別面談・面接実行 |
| | 4月 | 会員拡大会議・個別面談・面接実行 |
| | 5月 | 個別面談・面接実行 |
| | 6月 | 個別面談・面接実行 |
| | 7月 | 個別面談・面接実行 |
| | 8月 | 個別面談・面接実行 |
| | 9月 | 個別面談・面接実行 |
| | 10月 | 会員拡大会議・個別面談・面接実行 |
| | 11月 | 個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ |
| | 12月 | 個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ |

★事業報告

1. 6月 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナーの実施

今回、新型コロナウイルス感染防止のため開催時期や会場等が変更になったにも関わらず、多くのメンバーにご協力いただき無事に開催でき終えることができた。ソーシャルディスタンスや参加人数など制限を設けての開催ではあったが、事業目的である郡山青年会議所の歴史や伝統を学び、運動・活動の想いを共有する機会となった。また新型コロナウイルスの影響により、生活様式が変化するなかでセミナーを通して必要な情報リテラシーの重要性を再確認できた。全体を通して新入会員に郡山青年会議所を知っていただき、今後のJC運動・活動の礎を築く場となり、そしてWEBを利用したリモートによるセミナーを開催し設え、内容共に多くの学びを得る本事業であった。

2. 4月例会・チェリーパーティの企画・運営

新型コロナウイルス流行に伴い、感染防止対策のため余儀なく事業を中止とした。

3. 全国大会札幌大会引率

新型コロナウイルス流行に伴い、感染防止対策のため余儀なく遠征を中止とした。

4. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ

今年度は、会員拡大を行うにあたり各委員会から担当を2名選任し、委員会毎にリストを作成したうえで会員拡大運動を展開した。新型コロナウイルスの流行に伴い、感染防止の観点から7月まで活動を自粛していたが、OB会の多くの先輩や現役会員のご協力を賜り、156名の候補者情報を頂戴することができた。また、活動再開から各委員会と密に連絡を取り合い候補者の近況など情報をいただき、アプローチやクロージングに繋がられたことで、全候補者と接触することができた。拡大に関しては31名の計画であったが、結果11名入会と拡大の難しさを痛感したが、拡大を通して個人差はあるものの拡大の重要性を再確認できたと確信している。

5. その他理事長所信に基づき行う事業

2020年度は会員開発委員会が主導のもと、全会員で拡大に関わり自己の成長を1番の目的として運動・活動を展開した。ウイルス感染対策の影響もあり、思うように活動できない中でも「今できること」を模索し、行動に移すことができた。本年度の目標であった31名に対しては、11名と不甲斐ない実績ではあったが、多くの青年経済人と出会い、たくさんの価値観に触れ、考えや意見を話しあうことで、共感を得られた方や前向きに入会を検討していただくきっかけにもなり、次年度以降に必ず繋がる情報として残すことができた。この活動が会員拡大だけが目的ではなく、ひとつづくりの基盤である自己の成長や郡山青年会議所の運動・活動の魅力を伝え広げるために必要不可欠であることが実感できた。また、この経験を会員にも必要な機会であると改めて感じた。実質的な活動期間が少なかったにもかかわらず、皆様のご協力により最後まで諦めず強い意志を持って活動できたこと、そしてこのような機会をいただけたことに心より感謝申し上げます

2020年度 広報委員会

委員長 長尾 宗一郎
副委員長 佐久間 悠治

★委員会スローガン

SETUP

～未来に1歩を踏み出すために～

★事業方針

情報技術が日進月歩し多くの発信媒体が出現し、それに伴い情報が溢れ人々の興味の移り変わりも非常に早くなっている。その中で有効的な情報を発信していくためには、それぞれの媒体の特性を理解し、情報の内容やターゲットから最適なものを選択し、我々の運動や志を発信していかななくてはならない。

広報委員会ではメンバーが当事者意識をもって発信できるよう基本ルールを整備し、メンバーに周知をしていく。また常に発信の方法を模索しより良い手段を選択し、効果的な広報活動を展開していく。

「久米賞・百合子賞」については我々が歴史と伝統を継承し、青少年に向けて発信することで他者に想いを伝えることの大切さを育む。

広報委員会と共にメンバーが当事者意識をもってより効果的な情報を発信することで郡山青年会議所運動への共感が拡がり未来への一歩を踏み出すことができる。

★事業計画〔開催予定月〕

- | | |
|---|-------------|
| 1. 新入会員オリエンテーション並びに
現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同） | 〔 2月〕 |
| 2. 第59回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設営 | 〔2～12月〕 |
| 3. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参 | 〔 2月〕 |
| 4. 広報誌発刊 | 〔1・5・8・12月〕 |
| 5. 東北青年フォーラム in 南陽引率 | 〔 9月〕 |
| 6. 11月例会の運営・第59回「久米賞・百合子賞」授賞式 | 〔11月〕 |
| 7. ホームページ企画・運営・管理 | 〔通年〕 |
| 8. SNSの運営・管理 | 〔通年〕 |
| 9. メールアドレス・メーリングリストの管理 | 〔通年〕 |
| 10. 情報リテラシー、ガイドラインの作成 | 〔通年〕 |
| 11. LOM事業の取材 | 〔通年〕 |
| 12. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 13. その他理事長所信に基づき行なう事業 | 〔通年〕 |

★事業報告

1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）

新型コロナウイルスの蔓延により開催が7月に延期となった。基礎研修を通して、新入会員に青年会議所の運動・活動の意義を伝えることができた。またWEBを用いての現役会員向けセミナーではリコージャパン株式会社椎名利充様を講師にお呼びし「情報リテラシーセミナー」を開催し加速する情報化社会に向け現役会員のスキルアップと知識の向上に繋がる有意義な機会となった。

2. 第59回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設営

本年は小説50作品、詩358作品、総数408作品の応募をいただいた。実績としては小説作品の応募は例年並みであったが、詩作品に応募が集中し総数が増加した結果となった。百合子賞小説部門において1作品の正賞を選出いただいた。作品傾向としては小説では人間関係やLGBTなどの社会的問題をテーマにした作

品が多く、詩では身近な人への感謝の気持ちを素直に書き上げている作品が多く見受けられた。実行委員会設営に際しては共催先である郡山市役所様と綿密に打ち合わせを行い、新型コロナウイルスの影響下の中でも時に合わせた委員会を火災することができた。

3. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参

新型コロナウイルス感染拡大の防止に伴い開催を延期していたが、4月16日に全国へ緊急事態宣言が発令され、緊急事態宣言解除後も感染者数の推移を鑑み、現役会員の安全を第一に考えて委員会内で協議した結果全面中止とした。2月に郡山青年会議所OBで安積国造神社宮司でもあらせられる安藤智重先輩を講師にお招きし、「久米賞・百合子賞」と郡山の歴史についてお話しをいただいた。「久米賞・百合子賞」の名前の由来となっている久米正雄先生、宮本百合子先生お二人の歩まれた歴史を知ることができ新たな学びを得ることができた。

4. 広報誌発刊〔1・6・8・12月〕

理事長スローガンに基づき「ONE STEP」と題して、郡山青年会議所の運動・活動に対する想いを発信することを意識し、年4回の広報誌発刊を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により5月から6月発刊に変更し掲載コンテンツの充実化を図った。6月号では理事長対談としてCLUB#9代表の福井公伸氏との対談、飲食店応援記事、8月号では情報リテラシー、新入会員特集に取り組み2020年度スローガン「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」に込められた想いを表現することができた。

5. 東北青年フォーラム in 南陽引率

残念ながら新型コロナウイルス感染拡大により大会が中止となり引率を行うことができなかった。

6. 11月例会の運営・第59回「久米賞・百合子賞」授賞式

本年は百合子賞小説部門より正賞を一作品輩出することができた。授賞式では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係各所と協議の結果講演会は開催せずコンパクトな形での実施となった。授賞式の代替えとして新聞、ラジオを活用し「久米賞・百合子賞」についてと受賞作品の広報活動を行い広く「久米賞・百合子賞」を地域に発信することができた。

7. ホームページ企画・運営・管理

ホームページによる活動報告などの発信や事業告知、事業参加の募集を行った。トップページに特設ページや事業動画のリンクを設け、ホームページを訪れた人が情報を得やすい環境づくりを行うことができた。

8. SNSの運営・管理

Facebook、twitter、LINEを用いての広報活動を行った。効果的な発信ができたとは言いつらく、各媒体に合わせた発信の工夫が必要だった。事業告知などは積極的にSNSを利用することで多くの市民に向け情報を発信することができた。

9. メールアドレス・メーリングリストの管理

2020年度青年会議所内で使用するメーリングの作成と管理を行った。メールアドレスの変更があった際の対応も迅速に対応できた。

10. 情報リテラシー、ガイドラインの作成

現役会員向けセミナーにおいて情報リテラシーの勉強会を行い、広報誌、ホームページを通して情報リテラシーについて発信することができた。勉強会、本年のWEB活用の結果を顕彰し発信のためのガイドラインを作成することができた。

11. LOM事業の取材

郡山青年会議所が実施した各事業風景の撮影、取材活動を行った。記録写真は各事業の内容が伝わるように様々な角度からの撮影を意識し、臨場感を伝えられる工夫を行った。

12. 会員拡大に関する情報収集

ホームページにおいて会員募集要項を掲載し会員募集を呼び掛けた。また事業風景などを広報誌、SNSを通じて郡山青年会議所の運動・活動を発信することで会員拡大に繋がった。

13. その他理事長所信に基づき行なう事業

「SETUP～未来に1歩を踏み出すため～」の委員会スローガンのもと理事長スローガン「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」に込められた想いをホームページ、SNS、広報誌を用いて広く発信することに取り組んできました。多くのメンバーの協力を支えられなければ実行できないものばかりであり、その際に多大なるご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。

一年間を通じて貴重な経験をさせていただいた柳沼克郎理事長、川村憲司専務理事におかれましては深く感謝申し上げます。

2020年度 まちづくり委員会

委員長

副委員長 矢吹 瞬

★委員会スローガン

Re:Birth

～楽都から未来へ繋ぐハーモニー～

★事業方針

音楽は感情表現やコミュニケーションの一環として古くから地域、年齢、性別を問わず親しまれ、人々は奏でられるメロディーに心を大きく揺さぶられてきた。我がまち郡山では市民が主体となって音楽を使ってまちの問題の解決をしてきた。そして、音楽を愛する先人たちの力が「楽都郡山」を生み、その後も様々な音楽事業を展開してきた。人々の価値観が多様化していく中で、更なる郡山の発展のためには先人たちが築き上げてきた音楽の力を再認識し、人の輪を広げ音楽で心を繋げたより一層魅力的なまちづくりを展開しなくてはならない。

そこで我々は、郡山の魅力である音楽の持つ可能性を最大限に生かすためより多くの市民が、観客、演奏者として音楽の受発信の場を創出できるよう新しい音楽事業を開催する。より多くの市民に参加してもらえようあらゆる音楽に間口を広げ、分け隔てなく音楽を楽しんでもらえる場所を提供する。

音楽の力を再認識し市民とともに音楽によるまちづくり運動を展開することで、音楽の受発信を積極的に行い人と人が織りなすハーモニーを奏で明るい笑顔が咲く魅力あるまち郡山の創造へと繋がる。

★事業計画〔開催予定月〕

1. サマーコンファレンス引率事業 [7月]
2. 音楽交流事業 [10月]
3. 会員拡大に関する情報収集 [通 年]
4. その他理事長所信に基づき行なう事業 [通 年]

★事業報告

1. サマーコンファレンス引率事業
新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

2. 音楽交流事業

郡山青年会議所初のWEB主体の事業である「32万人の大合唱プロジェクト」を開催した。WEB上で一般の方からの歌唱動画を募集し、北海道から沖縄まで全国の方から応募いただき、郡山青年会議所の運動を広く周知することができた。また、その動画を編集しYouTubeで公開し、多くの方に観ていただいたことで郡山と音楽の繋がりが、郡山の魅力を発信、伝えることができた。

3. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大に関する情報共有や候補者などを委員会で議論を交わした。また、当委員会が開催した32万人の大合唱プロジェクトの事業では、全国の方々に事業を発信することで、郡山青年会議所の運動のPRとなった。また、事業内で協力いただいた企業の方々へ我々の運動内容を周知したことで会員拡大に繋がった。

本年は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、当初の計画から大幅な変更を余儀なくされた年であったが、先人たちが音楽の力でまちの問題を解決してきた郡山らしく、この困難に音楽の力で立ち向かうことができた。今まで当たり前に行えたことが当たり前でできなくなってしまった時代に、WEB上での合唱という新しい手法で多くの方々と一つになり、音楽の力を再認識していただき、市民のみならず全国の方々とともに一体となって音楽によるまちづくり運動を展開することができたと感じている。また、関係各所との協力、郡山を中心とした企業に景品の協力をいただいたことで新たな関係の構築、新入会員の拡大にも成功した。新しい取り組みということもあり、反省すべき点は多くあったが、今回の事業を次年度以降に最大限に活かすためにしっかりと検証し、明るい笑顔が咲く魅力あるまち郡山の創造へと繋げていく。

最後に、事業を成功に導いてくださったメンバーの皆様、そしてこのような機会を与えてくださった柳沼理事長、川村専務に心より感謝申し上げます。

2020年度 青少年育成委員会

委員長 新田義幸
副委員長 安齋元喜

★委員会スローガン

GRIT

～ 未来の宝を育もう ～

★事業方針

近年、情報機器等のコミュニケーションツールの普及や共働き増加などにより子どもたちを取り巻く環境は急速に変化しており、物質的な環境に恵まれる一方、一人で過ごすことが多くなり人間関係の希薄化を招いている。その結果、基本的な生活習慣や善悪の判断、他人に対する思いやりなどの生きる力を、直接触れ合う体験を通して身に付けることができなくなっている。

そこで、私たち青少年育成委員会は、事業を通じて子どもたちに生きる力を養う機会を提供する。青少年育成事業では子どもたちと保護者及び地域住民を結び付ける事業を実施し、子どもたちが大人から生きる力を学ぶ機会を提供する。わんぱく相撲では、集団での行動や相撲を通じた礼儀作法によって倫理観や規範意識を身に付け、目の前の取組に向き合い全力を尽くす大切さを経験してもらう。

これらの事業を通じて善悪の判断、他人への思いやりや他人と協調できる豊かな人間性を持った子どもとなることで生きる力が身に付き、次代へ羽ばたく未来の宝となる。

★事業計画

	〔開催予定月〕
1. 京都会議の引率	〔1月〕
2. 第55回郡山市こどもまつりへの参画	〔5月〕
3. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック場所・全国場所への参加引率	〔5月～10月〕
4. 青少年育成事業の開催	〔9月〕
5. 会員拡大に関する情報収集	〔通年〕
6. その他理事長所信に基づき行なう事業	〔通年〕

★事業報告

1. 京都会議引率

2020年度の公益社団法人日本青年会議所の基本理念や事業計画を発信する京都会議において、福島県初の会頭の所信を聞くことで多くの学びと気づきを得る機会となった。次年度段階において現役会員への依頼の必要性を改めて感じた。その他引率・設営において新年式典など設営面で例年と違う点多々あったが、委員会以外のメンバーに手助けいただき無事終えることが出来た。

2. 「第55回郡山市こどもまつり参加」

新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催が中止となった。

3. 「わんぱく相撲こおりやま場所・福島ブロック大会開催及びわんぱく相撲全国大会・女子全国大会参加」

新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催が中止となった。

4. 「こおりやまサイクルクエスト開催」

前日からの雨により当日のコンディションに不安があったが無事に開催することができた。事業内では子どもた

ちが保護者とクエストに挑戦しながら郡山の自然・歴史文化に触れることにより地域を知ってもらう機会ができた。また最後まで完走することで自信が付き、お互いを承認することでやりきる力を育むことができた。安全面での担保が難しい事業であるなかで各自メンバーが当事者意識をもってしっかり参加してくれたことにより事故やケガもなく終えることが出来た。

5. 会員拡大に関する情報収集

青少年育成の事業を通じて他団体と交流を図り、新入会員候補者の情報を収集し、積極的に会員拡大のため声掛けを行い、情報共有を図った。またこおりやまサイクルクエストの事業では新入会員候補者の方にお手伝いいただいたことで郡山青年会議所の運動を発信することが出来た。

6. その他理事長所信に基づき行なう事業

本年は「GRIT～未来の宝を育もう～」の青少年育成委員会スローガンのもとに、子どもたちに対し生きる力を養う機会を提供することで次代に羽ばたく未来の宝を育むことを目標に青年会議所運動活動を展開した。新型コロナウイルス感染拡大により各事業が中止になる中で、委員会メンバーと話し合いコロナ禍の中でも開催できる事業を行うことができた。また、事業を成功に終えることができたのは開催が難しい中で決断していただいた常任理事の皆様やLOMメンバーの皆様にご支援ご協力いただいたからこそだと思っている。最後になるがこのような貴重な機会を与えてくださった柳沼理事長、そして川村専務に心から御礼を申し上げる。

特別委員会報告

選挙管理委員会
委員長 佐藤 怜
副委員長 菅野 豊晴
委員 熊田 智一
委員 佐藤 尚弥
委員 増子 千晶

公益社団法人郡山青年会議所令和3年度理事長選挙に先立ち、6月30日に第1回選挙管理委員会を開催し、委員の互選にて正副委員長を選出した。

「公益社団法人郡山青年会議所定款」第29条並びに「公益社団法人郡山青年 会議所役員選出に関する規定」に基づき、下記日程の通り選挙を実施した。

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. 選挙告示文書の発送 | 7月02日 |
| 2. 令和2年度選挙人名簿の作成 | 7月10日 |
| 3. 第2回選挙管理委員会 | 7月16日 |
| 4. 選挙権・被選挙権を有しない会員への告示文書の発送 | 7月16日 |
| 5. 立候補届出受理期間 | 7月13日～15日 |

結果、柳沼勝恵君1名の立候補があり、「公益社団法人郡山青年会議所役員選出に関する規定」第13条に従い、厳正なる審査の結果、柳沼勝恵君を当選人とし、7月16日をもって当選告示し、7月22日の公益社団法人郡山青年会議所7月例会の席にて当選証書を授与した。また、9月23日の9月定時総会にて、当選人の報告をした。

褒 賞 委 員 会
委員長 佐藤 拓也
委員 大槻 俊介
委員 伊藤 和樹
委員 柳沼 勝恵
委員 本多 利幸

公益社団法人郡山青年会議所褒章規定に基づき、下記のように各褒章受章者及び受賞委員会を決定し、令和2年12月16日の12月例会の場において表彰を行った。

本年度の褒章各賞は審査において、郡山青年会議所の推進抑揚をはかり運動・活動に貢献した委員会、会員を褒章することを目的に委員会、例会、各種事業の出席率、日本J.C、東北地区、福島ブロックにおける遠征事業への参加、新入会員のセクレタリー回数と客観性のある数字データと各室長並びに各委員長から提出された申請書の推薦理由を総合的に評価した上、褒章委員会での厳正なる審査によって選出した。

本年は理事長特別賞として「AWARD OF PROGRESS」賞を設け多くのメンバーを対象に現役会員の意識の向上を図るとともに対内の活性化に繋げることができた。

本年の選考にあたり、会員の出席率の集計や受賞者の推薦をいただくなど多大なる御

協力をいただいた各室長並びに各委員長をはじめとします皆様に心から御礼申し上げるとともに受賞者をはじめとします現役会員の皆様が益々御活躍と御期待を申し上げ報告とする。

記

【最優秀 J A Y C E E 賞】	織田 陵平 君
【優秀 J A Y C E E 賞】	飯島 悠希 君
	渡邊 周人 君
【最優秀グループ賞】	まちづくり委員会
【優秀グループ賞】	青少年育成委員会
【最優秀新人賞】	江崎 健太 君
【優秀新人賞】	阿部 圭祐 君
	大橋 俊博 君
【AWARD OF PROGRESS(理事長特別賞)】	大越 淳平 君
	片田 光 君
	望月 俊弥 君
	丸山 雄平 君

会 員 選 考 委 員 会
委 員 長 金山 慶一
委 員 佐藤 怜
委 員 芝田 銀平
委 員 伊藤 千拓
委 員 吉田 一成
委 員 渡邊 周人
委 員 松川 義行

本年度は、入会候補者の意思が確認された後に、速やかに面接及び会員選考委員会を開催した。面接は公益社団法人郡山青年会議所会員資格規則第2章正会員の入会に基づき行い、会員選考委員会にて厳正に審査を行った。その結果として、2021年度の正会員として新入会員11名を当青年会議所の会員として適格と認め理事会にて承認をいただいた。

なお、2021年度正会員の新入会員は以下の通り。

佐藤 伸行君、丹野 雄大君、山田 健人君、佐藤 広幸君、伊藤 裕之君、杉島 健太君、佐久間 郡君、高橋 晋也君、三瓶 卓也君、笠間 寛君、中嶋 拓歩君

東北青年フォーラム準備委員会

委員長	二瓶	一嘉
副委員長	金山	慶一
委員	柳沼	克郎
委員	佐藤	拓也
委員	佐藤	怜
委員	大槻	俊介
委員	伊藤	和樹
委員	柳沼	勝恵
委員	川村	憲司
委員	松川	義行
委員	芝田	銀平
委員	松井	貴紀
委員	本多	利幸
委員	伊藤	千拓
委員	黒田	大輔
委員	佐久間	悠治
委員	安齋	元喜
委員	樽川	明広
委員	佐藤	研一
委員	吉田	一成
委員	片田	光
委員	嶋原	和義

2021年度に郡山の地で開催される東北青年フォーラムへ向けて、主管文、大会名、大会スローガン、PRムービー、横断幕を東北青年フォーラム準備委員会で協議を重ね、理事会承認を経て決定させていただいた。大会名、大会スローガン、シンボルマークはLOM内公募し、多数の応募の中から投票いただきその結果をもとに東北青年フォーラム準備委員会で協議を重ね決定した。今年度の東北青年フォーラム準備委員会へのLOM内出向や大会名、大会スローガン、シンボルマークなどLOM内公募、選考に多大なるご協力をいただいた全ての皆様へ心より感謝申し上げます。

尚、大会名、大会スローガンは以下の通り。

【大会名】東北青年フォーラム i n 郡山

【大会スローガン】未来を切り拓け！～開拓者精神で共に奏でよう！東北六重奏～

出向者報告

(公社) 日本青年会議所

渉外委員会

小幹事 伊藤 和樹

はじめに、公益社団法人日本青年会議所 渉外委員会に出向させていただきましたことに柳沼理事長をはじめとするメンバーの皆さまに感謝申し上げます。

渉外委員会は、日本青年会議所の会頭並びに役員が国内外の諸会議や諸大会において職務を円滑に遂行できるよう関係するすべての会議と委員会や協議会と連携し、スケジュールや会場などの情報を迅速に把握し共有することで、諸会議や大会に集中できる環境を構築することを目的とした委員会です。

しかし本年は、コロナウイルス感染症の蔓延により諸会議や各種大会が、WEB開催になりこれまでの渉外活動とは大きく変化しましたが、石田会頭をはじめとする日本青年会議所の役員の皆様と行動を共にしたことで、日本青年会議所の基本となる理念や運動指針などを学ぶ機会をいただきました。また全国から出向をしている意識の高いメンバーと一年間を共にしたことで非常に貴重な経験をすることができました。この出向で得た経験を、今後も青年会議所の運動・活動に活かしていくことをお約束し、出向者報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

ロールモデル推進委員会

総括幹事 武田 淳

小幹事 松井 貴紀

委員 山本 将司

本年度は公益社団法人日本青年会議所 ロールモデル推進委員会に出向をさせていただきました。日本青年会議所の2020年度基本理念でもある「全ての人が笑顔で生きがいを持てる国日本の創造」のもと、ロールモデル推進委員会では各LOMの運動を最大化し地域社会にとってなくてはならない存在として運動を展開していく為に、運動最大化に貢献できるロールモデルを広く発信、共有することで、地域に必要不可欠な存在を目指し1年間取り組んでまいりました。例年は褒賞委員会として褒賞事業を研究し、プログラム化した事業構築セミナーを行なってきましたが、近年の会員数の減少・所属年数の短期化に伴い、継続事業等の伝統ある事業がメンバーの負担になってしまうことで各事業の効果を十分に地域に還元できていないLOMもある現状から、事業構築だけでなくACFを基礎とした事業継続・承継といったロールモデルを創り上げ、YouTubeも取り入れることで広く発信していきました。また褒賞事業では、各LOMが地域社会に必要とされるために、まだ知られていない各地に根差し、地域のニーズに合った全国のLOMの事業を褒賞し、発信することで新たな気付きや学びを得る機会の創出となることを目指して取り組んでまいりました。

本年は新型コロナウイルスの影響もあり、京都会議以降全国での事業や大会関連も軒並み中止やWEB配信での運動・活動となりました。当委員会もこの環境下で制限された活動となってしまったことは非常に残念ではありましたが、その中でもWEBを中心とした事業の構築・発信や各地LOMとの連携をする機会となり、刻々と変わる環境下での変化に対応することが出来るようになったかと思えます。1年間を通して、例年に無い状況下で運動・活動とはなりましたが、ロールモデル推進委員会で得た多くの学びと出会いを今後のLOMの活動に活かしてまいりたいと思えます。

結びに、今回の貴重な機会を頂きました柳沼理事長をはじめとするLOMメンバーの皆様のご支援、ご協力いただき感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

国土強靱化委員会
委員 佐藤 怜

本年度、公益社団法人日本青年会議所 国土強靱化委員会に出向させていただきました。このような機会をいただいた柳沼理事長に感謝申し上げます。またLOMメンバーにはご支援、ご協力をいただき改めて感謝申し上げます。

LOMに入会してから初めての日本青年会議所出向に非常に楽しみにしていたのですが、京都会議での顔合わせ以降コロナ化の影響によりスタッフ以外ほぼ活動がない状況となり、WEB委員会を三回開催のみとなりました。このような形になってしまい残念ではあります。来年以降は本年の教訓を生かし委員会を開催し運動・活動できる体制が作られると思えます。それができるのが青年会議所であると学んできました。一年間、本当にありがとうございました。

監査担当役員 大槻 俊介

本年は(公社)日本青年会議所東北地区協議会 監査担当役員として出向させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの運動、活動は何一つ行うことが出来ないなかではありましたがWEBを中心とした事業構築に注力し出来得る限りの運動を行った一年となりました。また監査としてもコンプライアンス、会計だけに限らず感染対策面も注視する新しい考え方を学ばせていただきました。

二年連続の地区出向を経験させていただいたことで、多くの同志と出会い様々な学びと気付きを得ることが出来ました。このような貴重な経験を与えていただいた柳沼克郎理事長をはじめとする全ての現役会員の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

東北青年フォーラム運営委員会

委員長 久保田 雄大

総括幹事 柳沼 勝恵

委員 芝田 銀平

委員 片田 光

本年度、(公社)日本青年会議所東北地区協議会 東北青年フォーラム運営委員会に出向の機会をいただきました。年当初は想像も出来なかった大きな変化の一年となり、計画通りの運動・活動が難しい一年となりましたが、「全ての人が笑顔で生きがいを持つ東北の実現」の基本理念のもと、委員会メンバー一丸となり運動・活動を展開して参りました。

東北地区協議会最大の運動の発信の場であります東北青年フォーラムにおいては、事業の円滑な運営に向け、2020年度主管LOMである南陽青年会議所様と二人三脚で活動して参りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、誠に残念ながら2020年度東北地区大会「東北青年フォーラム in 南陽」は開催中止となりました。そのような中で、2020年度は形を変えてWEB配信事業という形で「東北WEBカンファレンス2020」を開催致しました。人を集めての事業開催が難しい中で、時代に即した一つの事業の形をお示しすることが出来ました。

また、本年度東北青年フォーラム運営委員会では「2020年代東北JC運動指針」の策定を致しました。これは、東北地区協議会が今後10年間運動を展開していくうえでの道標となるものです。これを示すことで、東北地区協議会が東北地区各地会員会議所の模範であり続けるための礎を築くことが出来ました。運動指針の作成を通して私たち自身も様々な学びを得る事ができましたし、皆様にとってもLOM活動の参考になる資料となりますので、是非ご活用いただければと思います。

最後となりますが、出向には多くの素晴らしい出会いと学びがあります。このような成長の機会を与えていただいた柳沼克郎理事長をはじめと致しますL O Mメンバーの皆様に心より感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

財政規則審査委員会
委員 吉成 透

本年度、(公社)日本青年会議所東北地区協議会 財政審査委員会に出向させていただきました。の機会をいただき、柳沼克郎理事長をはじめメンバー皆様に心より感謝申し上げます。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりWEBを用いての会議、公益審査・コンプライアンス審査などを含め、多くの経験と学びの機会をいただき自分自身も研鑽する機会が多くあり成長に繋がりました。今後もこの経験を青年会議所の運動・活動に活かしてまいります。

最後となりますが、このような素晴らしい機会を与えていただいた柳沼克郎理事長をはじめと致しますメンバー皆様に心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

総務広報委員会
委員 織田 陵平

はじめに、2020年度(公社)日本青年会議所 東北地区協議会 総務広報委員会への出向の機会をいただき、柳沼理事長をはじめと致しますメンバーの皆様に心より感謝申し上げます。

本年度総務広報委員会では、東北地区協議会の諸会議の設営や議事録作成をはじめ、SNSの運営、写真撮影等の基本的な担いのほか、「東北WEBカンファレンス2020」内で行われた褒章事業「AWARD TOHOKU 2020」の開催、2020年度東北地区協議会卒業証書授与式等、多くの担いをいただきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止や規模縮小となってしまったものもありましたが、その中で様々な経験を積ませていただき、委員会メンバーはもちろん、地区役員の方々との出会いや交流も経験させていただき、実りある1年間となりました。

この出会いや経験を糧に、今後のJC運動・活動、そして2021年度東北青年フォーラムin郡山開催に当たり少しでも力になれるよう、今後も頑張っ参ります。一年間ありがとうございました。

東北ゼミナール委員会
委員 飯島 悠希

本年度、公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 東北ゼミナール委員会へ出向させていただきましたこと、柳沼理事長をはじめと致しますメンバーの皆様に心より御礼申し

上げます。

東北ゼミナール委員会では、～東北を牽引する「結」の精神溢れる人財～をテーマに、「SDGs×コロナ対策」と「時代に即した組織改革」を課題とし、東北WEBカンファレンスにて提言発表をさせていただきました。コロナ禍の影響で、第2回目以降は全てWEBを介しての委員会となりましたが、JC歴の長い経験豊富な仲間たちと切磋琢磨できた貴重な経験と、自身の成長へと繋がる機会をいただきました。

送り出していただいた皆様への恩返しができるよう、東北ゼミナール委員会で学んだことを今後のJC運動・活動を通してLOMへ還元することが私の役割だと思っております。一年間ありがとうございました。

監査担当役員 佐藤 拓也

本年は公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会に出向させていただきました。出向先で県内各地の LOM を代表するメンバーの皆様の顔ぶれを見て、改めて大役を担わせていただくこと、出向者のメンバーとともに運動・活動できることに心躍る想いが溢れていたことを先日のように思い出します。

令和元年度東日本台風の爪痕が残る中、各予定会議がはじまり公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会会則第6条1項、会則第7条4項、会則第10条4に基づき監査担当役員として選任いただき菅野譲会長が掲げる「Try and Change～変化に対応できる人であれ～」というスローガンのもと業務の執行及び会計の状況を監査するほか財政審査会議、役員会議、会員会議所会議にて意見を述べる活動と開催される各事業に監査担当役員の職務を忘れず志同じうする役員として運動をして参りました。

各諸会議において、公益社団法人としての公益事業、会計、コンプライアンスの確認と福島県により良い変化をもたらすための責任世代である青年としてまちづくり・ひとづくりの発展と成長し明るい豊かな社会を築き上げていくための意見を述べてきました。福島ブロック協議会の内部監査にて計画から報告まで議案書をエレガントにまとめ、リーダーたるもの人に見てもらい意識をもってファイリングに取り組んでいるのか指導をしてきました。

スローガンの通り、成熟するまで Try and Change の精神で運動・活動を行いました、公益社団法人としての本質を外すことなく菅野譲会長のリーダーシップのもと運営並びに会計が適正に執行していること、外部監査が滞りなく終えたことを報告申し上げます。そして一年間、様々な機会をいただき県内各地の LOM を代表する出向者の会員とのご縁はとても刺激になりました。また出向できたことで福島県をより良くする、より良く変化するという大きな土俵で活動できたことで私個人の器を広げること繋がり自己の成長となり今後の飛躍の一步を踏み出せると確信しています。

結びとなりますが、出向の機会をいただきました柳沼理事長、川村専務理事をはじめとします郡山青年会議所の現役会員の皆様、菅野譲会長をはじめとする福島ブロック協議会の役員の皆様、県内会員会議所の理事長をはじめとします現役会員の皆様、そして、2020年度福島ブロック協議会の運動・活動に心を寄せ、お力添えをいただきました各団体の皆様をはじめとする協力者の皆様に対して感謝申し上げますとともに皆様方々からいただきました機会とご縁を今後に活かしていくことをお約束し年次報告と致します。一年間お世話になりました。ありがとうございました。

総務委員会
副委員長 樽川 明広
委員 遠藤 典宏

2020年度、福島ブロック協議会総務委員会に出向させていただきありがとうございました。

総務委員会は、各会議の設営と議事録作成及び2月の新春のつどい、11月のブロック卒業式を担当させていただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、残念ながら4月のしゃくなげCUPは中止の判断をせざるを得ない結果となりました。

コロナの影響で、各会議も対面と非対面、またはハイブリットでの設営となりました。11月のブロック卒業に於いては、対面とZoomとYouTubeを繋ぐという新たな取り組みにも挑戦させていただきました。

各事業の中止や内容変更が相次ぐ中、コロナ禍でも変わらない熱い議論を目の当たりにして大変刺激となりました。今回の出向経験を、今後しっかりとLOM活動に反映させて参ります。

最後になりますが、出向の機会を下さった柳沼克郎理事長をはじめとする現役会員の皆様に心より御礼申し上げます。

アカデミー委員会
幹事 坂本 皓亮
委員 望月 俊弥
委員 渡邊 周人

はじめに、柳沼理事長をはじめと致しますメンバーの皆様には本年度福島ブロック協議会アカデミー委員会へ出向させていただきましたことを心より感謝申し上げます。

アカデミー委員会では「ONE TEAM」のスローガンのもと、共感の輪を広げられる人材の育成になるべくJCI Achieveセミナー、JCI Impactセミナー、JCI Adminセミナーと多くの学びの機会をいただきました。

今年は新型コロナウイルス感染症により、例年とは違った1年となりました。それでも、スタッフ間での様々な議論と塾生の熱意によりWEBを用いたセミナーや動画による各LOMでの「アカデミー発組織改革論」発表会の開催が行われ、閉校式をもって一年間の学びの場を終えました。会員の成長、組織の持続的な発展、より良い運動の展開について一年間の活動を通して委員会で学び、塾内で話し合いを重ねることで、数多くの気づき、学びを得ることができました。この貴重な体験をLOMで生かすことが出来るように今後とも邁進していきたいと思っております。最後になりますが、素晴らしい一年間を過ごさせていただきましたことを柳沼理事長はじめと致しますメンバーの皆様に変更して御礼申し上げます。一年間ありがとうございました。

監事 佐藤 怜
監事 大槻 俊介

柳沼克郎理事長を始めとする公益社団法人郡山青年会議所の皆様、2020年度のJC運動・活動本当にお疲れ様でした。本年度は「気概を持って飛躍の一步を踏み出そう！！～一人ひとりが主役となり、新たな時代を切り拓くために～」のスローガンのもと、コロナ禍において様々な苦勞をされながらも運動・活動を行われました。例年とは違う環境のなかでも我々に出来ることを会員一人ひとりが模索し、郡山を明るい豊かな社会へ導くために歩みを止めることなく運動を行った一年となったのではないのでしょうか。

コロナウイルス感染症がここ郡山においても猛威をふるい始めた3月からは、メーリングにおける例会、ZOOMを活用した例会など様々な取り組みを行い接触機会の削減を図りつつも情報共有をしっかりと行いました。コロナウイルス感染症第三波が到来し、収束が見えない現状においては次年度に繋ぐ良いモデルとなったと思います。

接触機会の削減は市民との交流や実体験から様々な学びや気づきを提供する我々にとって大きな打撃ではありましたが、今だから必要とされる支援を迅速に実施する必要性に気付かされた年ともなりました。民間企業と連携して行った、郡山市教育委員会への消毒用アルコール寄贈はその最たる例となったと思います。消毒液が不足している時期に、将来を担う子供を守るべく寄贈を行ったことは郡山青年会議所が地域に必要とされる団体であり続けるためにも良い結果となったと思います。またWEB上で誰もが参加できる事業、屋外でソーシャルディスタンスを保ちながら体を動かす事業、一人でも知恵と想いを詰め込むことが出来る文学事業などコロナ禍においても感染症対策を十分に行いつつ事業を行ったことは、会員の皆様の知恵と努力の賜物であります。

来年度に迫る東北青年フォーラム in 郡山を見据え、東北地区協議会を始め多くの出向者も輩出されました。役付きでの出向者が多かったことで、その学びを持ち帰りLOMで活躍する2021年度はさらなる飛躍が期待されます。是非出向先での経験を語り、多くの会員の皆様と共有していただきたいと思います。出向者の皆様、本当にお疲れ様でした。

コロナ禍において我々はどうあるべきか、会員の皆様全てが考えさせられた一年であったと思います。今必要とされる支援はないのか、我々の行う運動・活動にリスクはないのか、良かれと思っていることがどんな結果を招くのか、今まで以上に慎重に判断することが求められた一年を良い結果で乗り切ったことは、皆様に感謝しかありません。今後も更に慎重に、そして公益性が高い運動・活動を行っていただき地域に必要とされ続ける団体として運動を続けていくことを心よりご祈念申し上げ、我々2名の監事報告と致します。

公益社団法人郡山青年会議所 2020年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員開発委員会
1月	07日 第1回総務委員会開催 16日 第2回総務委員会開催 文書発送 27日 新年会開催 31日 1月例会・定時総会開催	08日 委員会の開催(第1回) 24日 委員会の開催(第2回)
2月	07日 第3回総務委員会開催 17日 第4回総務委員会開催 文書発送 20日 2月例会開催	04日 委員会の開催(第3回) 21日 委員会の開催(第4回)
3月	04日 第5回総務委員会開催 16日 第6回総務委員会開催 文書発送 26日 3月例会開催	06日 委員会の開催(第5回) 23日 委員会の開催(第6回)
4月	03日 第7回総務委員会開催 15日 第8回総務委員会開催 22日 4月例会開催	03日 委員会の開催(第7回) 23日 委員会の開催(第8回)
5月	01日 第9回総務委員会開催 18日 第10回総務委員会開催 21日 5月例会開催	07日 委員会の開催(第9回) 22日 委員会の開催(第10回)
6月	03日 第11回総務委員会開催 16日 第12回総務委員会開催 文書発送 25日 6月例会開催	05日 委員会の開催(第11回) 19日 委員会の開催(第12回) 28日 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向けセミナー実施(室合同)
7月	03日 第13回総務委員会開催 04日 福島ブロック大会in白河 記念式典LIVE配信参加 16日 第14回総務委員会開催 文書発送 22日 7月例会開催	07日 委員会の開催(第13回) 21日 委員会の開催(第14回) 31日 会員拡大会議の開催(第1回)
8月	03日 第15回総務委員会開催 17日 第16回総務委員会開催 文書発送 20日 8月例会開催	05日 委員会の開催(第15回) 18日 委員会の開催(第16回)
9月	03日 第17回総務委員会開催 15日 第18回総務委員会開催 文書発送 23日 9月例会・定時総会開催	04日 委員会の開催(第17回) 05日 新入会員候補者面接 18日 委員会の開催(第18回)
10月	05日 第19回総務委員会開催 15日 第20回総務委員会開催 文書発送 25日 10月例会・郡山JCクリーン作戦開催	05日 委員会の開催(第19回) 13日 委員会の開催(第20回) 16日 新入会員候補者面接 30日 会員拡大会議の開催(第2回)
11月	02日 第21回総務委員会開催 16日 第22回総務委員会開催 文書発送 21日 11月例会開催	05日 新入会員候補者面接 06日 委員会の開催(第21回) 17日 委員会の開催(第22回) 24日 新入会員候補者面接 (27日)新入会員候補者面接
12月	03日 第23回総務委員会開催 12日 12月臨時総会・卒業式開催 16日 12月例会開催 23日 第24回総務委員会 文書発送	03日 委員会の開催(第23回) 05日 新入会員候補者面接 09日 新入会員候補者面接 18日 委員会の開催(第24回) 25日 新入会員候補者面接

公益社団法人郡山青年会議所 2020年度 各委員会月別報告書 No.2

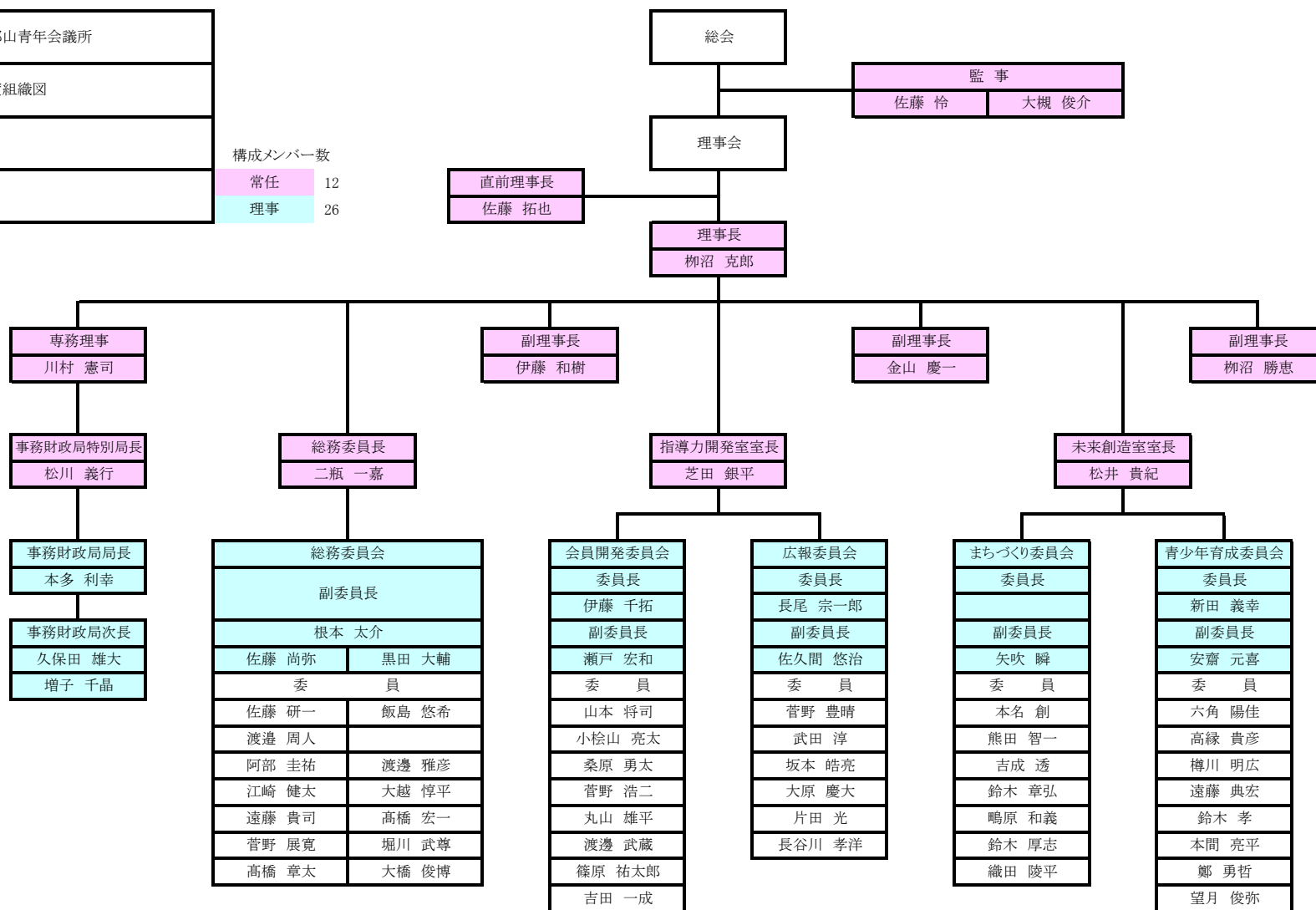
	広報委員会	まちづくり委員会
1月	08日 委員会の開催(第1回) 16日 広報誌発刊 21日 委員会の開催(第2回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	10日 委員会の開催(第1回) 15日 PEP Kids Koriyama 支援協力 21日 委員会の開催(第2回)
2月	04日 委員会の開催(第3回) 19日 委員会の開催(第4回) ◎久米正雄先生・宮本百合子先生 墓参 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	07日 委員会の開催(第3回) 18日 委員会の開催(第4回)
3月	05日 委員会の開催(第5回) 23日 委員会の開催(第6回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	04日 委員会の開催(第5回) 18日 委員会の開催(第6回)
4月	02日 委員会の開催(第7回) 17日 委員会の開催(第8回) 30日 第59回「久米賞・百合子賞」第1回実行委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	07日 委員会の開催(第7回) 16日 委員会の開催(第8回)
5月	07日 委員会の開催(第9回) 14日 委員会の開催(第10回) 22日 委員会の開催(第11回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	04日 委員会の開催(第9回) 11日 委員会の開催(第10回) 19日 委員会の開催(第11回)
6月	05日 委員会の開催(第12回) 22日 委員会の開催(第13回) 16日 広報誌発刊 28日 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向けセミナー実施(室合同) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	03日 委員会の開催(第12回) 16日 委員会の開催(第13回)
7月	06日 委員会の開催(第14回) 17日 委員会の開催(第15回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	06日 委員会の開催(第14回) 16日 委員会の開催(第15回) 20日～ 32万人の大合唱プロジェクト 29日 委員会の開催(第16回)
8月	04日 委員会の開催(第16回) 18日 委員会の開催(第17回) 17日 広報誌発刊 28日 第59回「久米賞・百合子賞」読み合わせ会 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	18日 委員会の開催(第17回) ◎ 32万人の大合唱プロジェクト
9月	01日 第59回「久米賞・百合子賞」応募締め切り 03日 委員会の開催(第18回) 09～25日 第59回「久米賞・百合子賞」一次審査 17日 委員会の開催(第19回) 29日 第59回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	03日 委員会の開催(第18回) 16日 委員会の開催(第19回) ◎ 32万人の大合唱プロジェクト
10月	01～15日 第59回「久米賞・百合子賞」二次審査 05日 委員会の開催(第20回) 21日 委員会の開催(第21回) 22日 第59回「久米賞・百合子賞」最終審査会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	05日 委員会の開催(第20回) 20日 委員会の開催(第21回)
11月	04日 第59回「久米賞・百合子賞」記者発表 05日 委員会の開催(第22回) 17日 委員会の開催(第23回) 21日 11月例会・第59回「久米賞・百合子賞」授賞式 27日 第59回「久米賞・百合子賞」ラジオ放送 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	05日 委員会の開催(第22回) 17日 委員会の開催(第23回)
12月	04日 委員会の開催(第24回) 17日 第59回「久米賞・百合子賞」新聞掲載 18日 委員会の開催(第25回) 22日 第59回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会の開催 23日 広報誌発刊 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	04日 委員会の開催(第24回) 24日 委員会の開催(第25回)

公益社団法人郡山青年会議所 2020年度 各委員会月別報告書 No.3

青少年育成委員会	
1月	10日 委員会の開催(第1回) 17日～19日京都会議の引率 21日 委員会の開催(第2回)
2月	07日 委員会の開催(第3回) 18日 委員会の開催(第4回)
3月	18日 委員会の開催(第5回) 23日 委員会の開催(第6回)
4月	02日 委員会の開催(第7回) 17日 委員会の開催(第8回)
5月	04日 委員会の開催(第9回) ◎「第55回郡山市こどもまつり」新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 11日 委員会の開催(第10回) 20日 委員会の開催(第11回)
6月	04日 委員会の開催(第12回) ◎わんぱく相撲福島ブロック場所 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 18日 委員会の開催(第13回)
7月	06日 委員会の開催(第14回) 16日 委員会の開催(第15回)
8月	04日 委員会の開催(第16回) 18日 委員会の開催(第17回)
9月	03日 委員会の開催(第18回) 17日 委員会の開催(第19回)
10月	08日 委員会の開催(第20回) 22日 委員会の開催(第21回) ◎わんぱく相撲全国大会引率 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
11月	03日 こおりやまサイクルクエスト開催 14日 委員会の開催(第22回) 14日 委員会の開催(第23回)
12月	04日 委員会の開催(第24回) 17日 委員会の開催(第25回)

公益社団法人郡山青年会議所
2020年度組織図
構成メンバー数
常任 12
理事 26

構成メンバー数
常任 12
理事 26



公益社団法人郡山青年会議所

2020年度 収支決算書

- 1 正味財産増減計算書(補正予算)
- 2 正味財産増減計算書 内訳表
- 3 事業区分経理の内訳表
- 4 正味財産増減計算書(決算)
- 5 正味財産増減計算書 内訳表
- 6 事業区分経理の内訳表
- 7 貸借対照表
- 8 財産目録
- 9 財務諸表に対する注記
- 10 付属明細書

公益社団法人 郡山青年会議所 2020年度 正味財産増減計算書

2020年1月1日から12月31日まで

科 目	当初予算	補正予算	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	1,000,000	500,000	△ 500,000
受取入会金	1,000,000	500,000	△ 500,000
受取会費	11,620,000	9,520,000	△ 2,100,000
正会員会費	11,620,000	9,520,000	△ 2,100,000
事業収益	1,500,000	50,000	△ 1,450,000
登録料収益	500,000	50,000	△ 450,000
広告料収益	1,000,000	0	△ 1,000,000
事務局受託収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
受取補助金等	4,080,000	2,320,000	△ 1,760,000
受取国庫補助金	0	0	0
受取地方公共団体補助金	2,000,000	2,320,000	320,000
受取民間補助金	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0
受取地方公共団体助成金	80,000	0	△ 80,000
受取民間助成金	2,000,000	0	△ 2,000,000
受取補助金等振替額	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0
受取寄付金	1,890,000	1,842,000	△ 48,000
受取寄付金	1,890,000	1,842,000	△ 48,000
募金収益	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0
雑収益	80,000	2,091	△ 77,909
受取利息	2,000	491	△ 1,509
雑収益	78,000	1,600	△ 76,400
経常収益計	20,170,000	14,234,091	△ 5,935,909
(2) 経常費用			
事業費	14,287,154	10,024,915	△ 4,262,239
給料手当	1,431,500	1,431,500	0
退職金給付手当	0	0	0
福利厚生費	210,000	210,000	0
旅費交通費	66,680	0	△ 66,680
通信運搬費	735,420	735,000	△ 420
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	100,000	100,000	0
消耗品費	1,287,300	875,500	△ 411,800
修繕費	0	0	0
印刷製本費	1,014,369	2,230,380	1,216,011
広報費	0	0	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費	280,000	280,000	0
賃借料	5,165,600	1,561,700	△ 3,603,900
保険料	275,000	48,520	△ 226,480
諸謝金	1,742,285	30,387	△ 1,711,898
租税公課	0	0	0
委託費	700,000	448,600	△ 251,400
支払負担金	1,094,000	1,055,500	△ 38,500
支払助成金	0	0	0
渉外費	0	797,448	797,448
雑費	185,000	220,380	35,380
管理費	4,653,867	4,383,370	△ 270,497
給与手当	629,896	629,896	0
退職金給付手当	50,000	50,000	0
福利厚生費	112,966	103,506	△ 9,460
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	273,056	278,734	5,678
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	461,966	424,213	△ 37,753
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費	97,434	92,685	△ 4,749
賃借料	497,102	492,120	△ 4,982
保険料	0	0	0
諸謝金	6,770	0	△ 6,770
租税公課	0	0	0
渉外費	380,497	301,060	△ 79,437
支払負担金	1,617,340	1,484,316	△ 133,024
JCI負担金支出	88,540	109,616	21,076
日本JC負担金支出	440,000	385,000	△ 55,000
地区協議会負担金支出	119,000	107,000	△ 12,000
ブロック協議会負担金支出	415,000	375,000	△ 40,000
国際協力資金支出	138,700	124,100	△ 14,600
日本JC出向者負担金支出	110,000	110,000	0
WeBelieve購読料支出	226,500	204,000	△ 22,500
他団体負担金	79,600	69,600	△ 10,000
委託費	0	0	0
雑費	526,840	526,840	0
経常費用計	18,941,021	14,408,285	△ 4,532,736
評価損益等調整前当期経常増減額	1,228,979	△ 174,194	△ 1,403,173
①基本財産評価損益等	0	0	0
②特定資産評価損益等	0	0	0
③投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,228,979	△ 174,194	△ 1,403,173
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①固定資産売却益			
建物売却益	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0
什器備品売却益	0	0	0
土地売却益	0	0	0
借地権売却益	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0
②固定資産受贈益			
土地受贈益	0	0	0
投資有価証券受贈益	0	0	0
③前期損益修正益			
前期損益修正益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①固定資産売却損			
建物売却損	0	0	0
土地売却損	0	0	0
②固定資産売却損			
土地減損損失	0	0	0
③災害損失			
災害損失	0	0	0
④前期損益修正損			
前期損益修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	1,228,979	△ 174,194	△ 1,403,173
一般正味財産期首残高	6,755,482	5,461,016	△ 1,294,466
一般正味財産期末残高	7,984,461	5,286,822	△ 2,697,639
II. 指定正味財産増減の部			
①受取補助金等			
受取国庫補助金等	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0
②受取負担金			
受取負担金	0	0	0
③受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
④固定資産受贈益			
⑤基本財産評価益			
⑥特定資産評価益			
⑦基本財産評価損			
⑧特定資産評価損			
⑨一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	7,984,461	5,286,822	△ 2,697,639

公益社団法人山青年会議所 2020年度 正味財産増減計算書 内訳表

2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	他1	他2	共通	小計		
I. 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	250,000	250,000	0	0	50,000	50,000	200,000	500,000
受取入会金	0	0	250,000	250,000	0	0	50,000	50,000	200,000	500,000
受取会費	0	0	4,760,000	4,760,000	0	0	952,000	952,000	3,808,000	9,520,000
正会員会費	0	0	4,760,000	4,760,000	0	0	952,000	952,000	3,808,000	9,520,000
事業収益	0	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	50,000
登録料収益	0	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	50,000
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局受託収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	1,670,000	650,000	0	2,320,000	0	0	0	0	0	2,320,000
受取国庫補助金	1,670,000	650,000	0	2,320,000	0	0	0	0	0	2,320,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	921,000	921,000	0	0	184,200	184,200	736,800	1,842,000
受取寄付金	0	0	921,000	921,000	0	0	184,200	184,200	736,800	1,842,000
募金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	2,091	2,091
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	491	491
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	1,600	1,600
経常収益計	1,670,000	700,000	5,931,000	8,301,000	0	0	1,186,200	1,186,200	4,746,891	14,234,091
(2) 経常費用										
事業費	4,159,900	3,709,350	0	7,869,250	661,540	1,494,125	0	2,155,665	0	10,024,915
給料手当	511,250	511,250	0	1,022,500	204,500	204,500	0	409,000	0	1,431,500
退職金給付手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	75,000	75,000	0	150,000	30,000	30,000	0	60,000	0	210,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	262,500	262,500	0	525,000	105,000	105,000	0	210,000	0	735,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000	0	100,000
消耗品費	295,000	295,000	0	590,000	118,000	167,500	0	285,500	0	875,500
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	1,668,865	284,260	0	1,953,125	0	277,255	0	277,255	0	2,230,380
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	100,000	100,000	0	200,000	40,000	40,000	0	80,000	0	280,000
賃借料	410,100	725,940	0	1,136,040	164,040	261,620	0	425,660	0	1,561,700
保険料	0	48,520	0	48,520	0	0	0	0	0	48,520
諸謝金	22,137	0	0	22,137	0	8,250	0	8,250	0	30,387
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	17,600	131,000	0	148,600	0	300,000	0	300,000	0	448,600
支払負担金	0	1,055,500	0	1,055,500	0	0	0	0	0	1,055,500
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費	797,448	0	0	797,448	0	0	0	0	0	797,448
雑費	0	220,380	0	220,380	0	0	0	0	0	220,380
管理費										
給料手当									4,383,370	4,383,370
退職金給付手当									629,896	629,896
福利厚生費									50,000	50,000
旅費交通費									103,506	103,506
通信運搬費									278,734	278,734
減価償却費									0	0
消耗什器備品費									0	0
消耗品費									424,213	424,213
修繕費									0	0
印刷製本費									0	0
燃料費									0	0
光熱水料									92,685	92,685
賃借料									492,120	492,120
保険料									0	0
諸謝金									0	0
租税公課									0	0
渉外費									301,060	301,060
支払負担金									1,484,316	1,484,316
JCI負担金支出									109,616	109,616
日本JC負担金支出									385,000	385,000
地区協議会負担金支出									107,000	107,000
ブロック協議会負担金支出									375,000	375,000
国際協力資金支出									124,100	124,100
日本JC出向者負担金支出									110,000	110,000
WeBelieve購読料支出									204,000	204,000
他団体負担金									69,600	69,600
委託費									0	0
雑費									526,840	526,840
経常費用計	4,159,900	3,709,350	0	7,869,250	661,540	1,494,125	0	2,155,665	4,383,370	14,408,285
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,489,900	△ 3,009,350	5,931,000	431,750	△ 661,540	△ 1,494,125	1,186,200	△ 969,465	363,521	△ 174,194
①基本財産評価損益等				0						0
②特定資産評価損益等				0						0
③投資有価証券評価損益等				0						0
評価損益等計				0						0
当期経常増減額	△ 2,489,900	△ 3,009,350	5,931,000	431,750	△ 661,540	△ 1,494,125	1,186,200	△ 969,465	363,521	△ 174,194
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
①固定資産売却益				0					0	0
建物売却益				0					0	0
車両運搬具売却益				0					0	0
什器備品売却益				0					0	0
土地売却益				0					0	0
借地権売却益				0					0	0
電話加入権売却益				0					0	0
②固定資産受贈益				0					0	0
土地受贈益				0					0	0
投資有価証券受贈益				0					0	0
③前期損益修正益				0					0	0
前期損益修正益				0					0	0
経常外収益計				0					0	0
(2) 経常外費用										
①固定資産売却損				0					0	0
建物売却損				0					0	0
車両運搬具売却損				0					0	0
什器備品売却損				0					0	0
土地売却損				0					0	0
借地権売却損				0					0	0
電話加入権売却損				0					0	0
②固定資産除却損				0					0	0
土地減損損失				0					0	0
投資有価証券減損損失				0					0	0
③災害損失				0					0	0
災害損失				0					0	0
④前期損益修正損				0					0	0
前期損益修正損				0					0	0
経常外費用計				0					0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額										
当期一般正味財産増減額	△ 2,489,900	△ 3,009,350	5,931,000	431,750	△ 661,540	△ 1,494,125	1,186,200	△ 969,465	363,521	△ 174,194
一般正味財産期首残高				0					5,461,016	5,461,016
一般正味財産期末残高	△ 2,489,900	△ 3,009,350	5,931,000	431,750	△ 661,540	△ 1,494,125	1,186,200	△ 969,465	5,824,537	5,286,822
II. 指定正味財産増減の部										
①受取補助金等				0						0
受取国庫補助金等				0						0
受取地方公共団体補助金				0						0
受取民間補助金				0						0

公益社団法人郡山青年会館所 2020年度 正味財産増減計算書

2020年1月1日から12月31日まで

科 目	補正予算	決算	差 異	差異理由
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
特定資産運用益				
受取入会金	500,000	500,000		
受取入会金	500,000	500,000		
受取会費	9,520,000	9,520,000		
正会員会費	9,520,000	9,520,000		
事業収益	50,000	43,500	-6,500	
登録料収益	50,000	43,500	-6,500	事業内容確定のため
広告料収益				
事務局受託収益				
雑収益				
受取補助金等	2,320,000	2,320,000		
受取国庫補助金				
受取地方公共団体補助金	2,320,000	2,320,000		
受取民間補助金				
受取国庫助成金				
受取地方公共団体助成金				
受取民間助成金				
受取補助金等振替額				
受取負担金				
受取負担金				
受取負担金振替額				
受取寄付金	1,842,000	1,872,583	30,583	
受取寄付金	1,842,000	1,872,583	30,583	JCカード連付金入金のため
募金収益				
受取寄付金振替額				
雑収益	2,091	5,812	3,721	
受取利息	491	412	-79	受取利息確定のため
雑収益	1,600	5,400	3,800	
経常収益計	14,234,091	14,261,895	27,804	
(2) 経常費用				
事業費	10,024,915	9,607,589	-417,326	
給料手当	1,431,500	1,457,368	25,868	
退職金給付手当				
福利厚生費	210,000	234,630	24,630	
旅費交通費				
通信運搬費	735,000	582,346	-152,654	事業内容確定のため
減価償却費				
消耗什器備品費	100,000		-100,000	事業内容確定のため
消耗品費	875,500	819,854	-55,646	事業内容確定のため
修繕費				
印刷製本費	2,230,389	2,232,720	2,340	事業内容確定のため
広報費				
燃料費				
光熱水料費	280,000	114,074	-165,926	事業内容確定のため
賃借料	1,561,709	1,547,002	-14,698	事業内容確定のため
保険料	48,520	48,520		
贈謝金	30,387	33,273	2,886	事業内容確定のため
租税公課				
委託費	448,600	574,200	125,600	事業内容確定のため
支払負担金	1,055,500	1,000,000	-55,500	
支払助成金				
渉外費	797,448		-797,448	事業内容確定のため
雑費	220,389	963,602	743,212	事業内容確定のため
管理費	4,383,370	4,292,788	-90,582	
給与手当	629,896	624,586	-5,310	
退職金給付手当	50,000	50,000		
福利厚生費	103,506	100,556	-2,950	
旅費交通費				
通信運搬費	278,734	249,573	-29,161	
減価償却費				
消耗什器備品費				
消耗品費	424,213	61,826	-362,387	
修繕費		129,800	129,800	
印刷製本費		301,624	301,624	
燃料費				
光熱水料費	92,685	48,888	-43,797	
賃借料	492,120	552,606	60,486	
保険料		7,250	7,250	
贈謝金		6,600	6,600	
租税公課				
渉外費	301,060	190,302	-110,758	
支払負担金	1,484,316	1,554,316	70,000	
支払負担金支出	109,616	109,616		
日本JICA負担金支出	385,000	385,000		
地区協議会負担金支出	107,000	107,000		
アロク協議会負担金支出	375,000	375,000		
国際協力基金支出	124,100	124,100		
日本JICA出向者負担金支出	110,000	110,000		
WebLive環境料支出	204,000	204,000		
他団体負担金	69,600	139,600	70,000	会員数確定のため
雑費	526,840	414,861	-111,979	事業内容確定のため
経常費用計	14,408,285	13,900,377	-507,908	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 174,194	361,518	535,712	
① 基本財産評価損益等				
② 特定資産評価損益等				
③ 投資有価証券評価損益等				
評価損益等計				
当期経常増減額	△ 174,194	361,518	535,712	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産売却益				
建物売却益				
車両運搬具売却益				
什器備品売却益				
土地売却益				
借地権売却益				
電話加入権売却益				
② 固定資産受贈益				
土地受贈益				
投資有価証券受贈益				
③ 前期損益修正益				
前期損益修正益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
① 固定資産売却損				
建物売却損				
車両運搬具売却損				
什器備品売却損				
土地売却損				
借地権売却損				
電話加入権売却損				
② 固定資産売却損				
土地売却損				
投資有価証券売却損				
③ 災害損失				
災害損失				
④ 前期損益修正損				
前期損益修正損				
⑤ 雑損失				
雑損失				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△ 174,194	361,518	535,712	
一般正味財産期首残高	5,461,010	5,461,010		
一般正味財産期末残高	5,286,822	5,822,524	535,712	
II. 指定正味財産増減の部				
① 受取補助金等				
受取国庫補助金等				
受取地方公共団体補助金				
受取民間補助金				
受取国庫助成金				
受取地方公共団体助成金				
受取民間助成金				
② 受取負担金				
受取負担金				
③ 受取寄付金				
受取寄付金				
④ 固定資産受贈益				
⑤ 基本財産評価益				
⑥ 特定資産評価益				
⑦ 基本財産評価損				
⑧ 特定資産評価損				
⑨ 一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III. 正味財産期末残高	5,286,822	5,822,524	535,712	

公益社団法人郡山青年会館所 2020年度 正味財産増減計算書 内訳表
2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	他1	他2	共通	小計		
1. 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
特定資産運用益										
受取入金			250,000	250,000			100,000	100,000	150,000	500,000
受取入金			250,000	250,000			100,000	100,000	150,000	500,000
受取会費			4,760,000	4,760,000			1,904,000	1,904,000	2,856,000	9,520,000
正会員会費			4,760,000	4,760,000			1,904,000	1,904,000	2,856,000	9,520,000
事業収益		43,500		43,500						43,500
登録料収益		43,500		43,500						43,500
広告料収益										
事務局受託収益										
雑収益										
受取補助金等	1,670,000	650,000		2,320,000						2,320,000
受取国庫補助金										
受取地方公共団体補助金	1,670,000	650,000		2,320,000						2,320,000
受取民間補助金										
受取民間助成金										
受取地方公共団体助成金										
受取民間助成金										
受取補助金等振替額										
受取負担金										
受取負担金										
受取負担金振替額										
受取寄付金		936,291		936,291			374,516	374,516	561,776	1,872,583
受取寄付金		936,291		936,291			374,516	374,516	561,776	1,872,583
募金収益										
受取寄付金振替額										
雑収益									5,812	5,812
受取利息									412	412
雑収益									5,400	5,400
経常収益計	1,670,000	693,500	5,946,291	8,309,791			2,378,516	2,378,516	3,573,588	14,261,885
(2) 経常費用										
事業費	4,024,326	3,518,276		7,542,602	607,316	1,457,671		2,064,987		9,607,589
給料手当	520,488	520,488		1,040,976	208,196	208,196		416,392		1,457,368
退職金給付手当										
福利厚生費	83,796	83,796		167,592	33,519	33,519		67,038		234,630
旅費交通費										
通信運搬費	207,979	207,979		415,958	83,194	83,194		166,388		582,346
減価償却費										
消耗什器備品費	277,876	277,876		555,752	111,151	152,951		264,102		819,854
修繕費										
印刷製本費	1,668,865	215,100		1,883,965		348,755		348,755		2,232,720
燃料費										
光熱水料費	40,740	40,740		81,480	16,297	16,297		32,594		114,074
賃借料	387,397	719,887		1,107,284	154,959	284,759		439,718		1,547,002
保険料										
諸謝金	22,137	11,136		33,273						33,273
租税公課										
委託費	17,600	226,600		244,200		330,000		330,000		574,200
支払負担金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
渉外費										
雑費	797,448	166,154		963,602						963,602
管理費									4,292,788	4,292,788
給料手当										624,586
退職金給付手当										50,000
福利厚生費										100,556
旅費交通費										
通信運搬費										249,573
減価償却費										
消耗什器備品費										61,826
消耗什器備品費										129,800
修繕費										301,624
印刷製本費										
燃料費										48,888
光熱水料										552,606
賃借料										7,250
保険料										6,600
諸謝金										190,302
租税公課										1,554,316
渉外費										109,616
支払負担金										385,000
ICJ負担金支出										107,000
日本ICJ負担金支出										375,000
地区協議会負担金支出										124,100
アロックス協議会負担金支出										110,000
国際協力資金支出										204,000
日本ICJ出向者負担金支出										139,600
WeBelieve購読料支出										414,861
委託費										414,861
雑費										
経常費用計	4,024,326	3,518,276		7,542,602	607,316	1,457,671		2,064,987	4,292,788	13,900,377
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,354,326	△ 2,824,776	5,946,291	767,189	△ 607,316	△ 1,457,671	2,378,516	313,529	△ 719,200	361,518
①基本財産評価損益等										
②特定資産評価損益等										
③投資有価証券評価損益等										
評価損益等計										
当期経常増減額	△ 2,354,326	△ 2,824,776	5,946,291	767,189	△ 607,316	△ 1,457,671	2,378,516	313,529	△ 719,200	361,518
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
①固定資産売却益										
建物売却益										
車両運搬具売却益										
什器備品売却益										
土地売却益										
借地権売却益										
電話加入権売却益										
②固定資産受贈益										
土地受贈益										
投資有価証券受贈益										
③前期損益修正益										
前期損益修正益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
①固定資産売却損										
建物売却損										
車両運搬具売却損										
什器備品売却損										
土地売却損										
借地権売却損										
電話加入権売却損										
②固定資産除却損										
土地減価償却損失										
投資有価証券減損損失										
③災害損失										
災害損失										
④前期損益修正損										
前期損益修正損										
⑤雑損失										
雑損失										
経常外費用計										
当期経常外増減額										
併会計振替額										
当期一般正味財産増減額	△ 2,354,326	△ 2,824,776	5,946,291	767,189	△ 607,316	△ 1,457,671	2,378,516	313,529	△ 719,200	361,518
一般正味財産期首残高										5,461,016
一般正味財産期末残高	△ 2,354,326	△ 2,824,776	5,946,291	767,189	△ 607,316	△ 1,457,671	2,378,516	313,529	4,741,816	5,822,534
II. 指定正味財産増減の部										
①受取補助金等										
受取国庫補助金等										
受取地方公共団体補助金										
受取民間補助金										
受取民間助成金										
受取地方公共団体助成金										
受取民間助成金										
②受取負担金										
受取負担金										
③受取寄付金										
受取寄付金										
④固定資産受贈益										
⑤基本財産評価損益										
⑥特定資産評価損益										
⑦基本財産評価損益										
⑧特定資産評価損益										
⑨一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額										
当期指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高										
指定正味財産期末残高										
III. 正味財産期末残高	△ 2,354,326	△ 2,824,776	5,946,291	767,189	△ 607,316	△ 1,				

公益社団法人郡山青年会議所 2020年度 貸借対照表

2020年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,570,709	5,796,851	773,858
小口現金	15,672	30,225	△ 14,553
普通・定期預金	6,555,037	5,766,626	788,411
立替金	0	0	0
未収金	0	0	0
事業仮払金	0	0	0
流動資産合計	6,570,709	5,796,851	773,858
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本資産合計	0	0	0
(2) 特定財産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他の固定資産			
保証金	0	264,000	△ 264,000
退職給与特定積立	1,681,000	1,631,000	50,000
その他の固定資産計	1,681,000	1,895,000	△ 214,000
固定資産合計	1,681,000	1,895,000	△ 214,000
資産合計	8,251,709	7,691,851	559,858
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
仮受金	0	0	0
預り金	748,175	599,835	148,340
前受会費	710,000	0	710,000
源泉税	0	24,318	△ 24,318
預り金	38,175	575,517	△ 537,342
流動負債合計	748,175	599,835	148,340
2. 固定負債			
退職金引当金	1,681,000	1,631,000	50,000
固定負債合計	1,681,000	1,631,000	50,000
負債合計	2,429,175	2,230,835	198,340
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	5,822,534	5,461,016	361,518
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	5,822,534	5,461,016	361,518
負債および正味財産合計	8,251,709	7,691,851	559,858

公益社団法人郡山青年会議所2020年度 財産目録

2020年12月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	15,672
	預金	普通預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号322931	運転資金として	1,915,392
		普通預金 大東銀行 本店 口座番号1041883	運転資金として	35,584
		普通預金 福島銀行 郡山営業部 口座番号324137	運転資金として	573
		普通預金 秋田銀行 郡山支店 口座番号229164	運転資金として	31,497
		普通預金 郡山信用金庫 本店営業部 口座番号0940031	運転資金として	365,067
		普通預金 福島県商工信用組合 本店営業部 口座番号1028080	運転資金として	6,924
		定期預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号97117915	60周年積立金	1,200,000
		定期預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号97117940	60周年積立金	3,000,000
流動資産合計				6,570,709
(固定資産)	基本財産			
	特定資産			
	その他固定資産	退職給与積立金 定期預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号97117940	事務局員退職積立金	1,681,000
固定資産合計				1,681,000
資産合計				8,251,709
(流動負債)	預り金			38,175
	前受金			710,000
				0
流動負債合計				748,175
(固定負債)	退職給与引当金			1,681,000
固定負債合計				1,681,000
負債合計				2,429,175
正味財産合計				5,822,534

財務諸表に対する注記

2020年12月31日現在

- 1、 継続事業の前提に対する注記 該当事項なし。
- 2、 重要な会計方針
- （1） 有価証券の評価基準及び評価方法 該当事項なし。
- （2） 棚卸資産の評価基準及び評価方法 該当事項なし。
- （3） 固定資産の減価償却の方法
- ①有形固定資産（リース資産を除く） 該当事項なし。
- ②無形固定資産（リース資産を除く） 該当事項なし。
- ③リース資産
（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産） 該当事項なし。
- （4） 引当金の計上基準 該当事項なし。
- （5） キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 認定法第5条12号の規定により省略。
- （6） 消費税等の会計処理 税込方式によっている。

- 3、 会計方針の変更
2015年度より「公益法人会計基準」（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を適用する。

- 4、 基本財産及び特定資産の増減及びその残高 該当事項なし。

- 5、 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 該当事項なし。

- 6、 担保に共している資産 該当事項なし。

- 7、 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 該当事項なし。

- 8、 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
立替金	0	0	0
未収金	0	0	0
事業仮払金	0	0	0
小 計	0	0	0

- 9、 保証債務
（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務 該当事項なし。

- 10、 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 該当事項なし。

- 11、 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）補助金	福島県	0	1,670,000	1,670,000	0	
福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）補助金	福島県	0	650,000	650,000	0	
合 計		0	2,320,000	2,320,000	0	

- 12、 基本金及び代替基金の増減額及びその残高 該当事項なし。

- 13、 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 該当事項なし。

- 14、 関連当事者との取引の内容 該当事項なし。

- 15、 キャッシュフロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引 該当事項なし。

- 16、 重要な後発事業 該当事項なし。

- 17、 その他 該当事項なし。

附属明細書


1、基本財産及び特定資産の明細	該当事項なし。
2、引当金の明細	退職給付引当金 1,681,000


監査報告書

公益社団法人郡山青年会議所
理事長 柳沼 勝恵 殿

2021年 1月 8日
公益社団法人郡山青年会議所

2020年度監事 佐藤 怜 

2020年度・2021年度監事 大槻 俊介 

2021年度監事 樽川 明広 

私達は、2020年1月1日から2020年12月31日までの会計年度における業務監査・会計監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法及び概要

- (1) 業務監査について、理事会及びその他会議に出席し、理事から業務報告を聴取し、関係書類を閲覧するなど必要と思われる監査手段を用いて、業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて、計算書類の正確性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 事業報告内容は真実であると認められる。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正行為又は法定若しくは定款に違反する重大な事実認められない。
- (3) 正味財産増減計算書及び財産目録・会計帳簿の金額が一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。

以上

令和3年1月8日

公益社団法人郡山青年会議所2020年度会計監査調査報告

公益社団法人郡山青年会議所

専務理事 川村憲司



公益社団法人郡山青年会議所2020年度会計監査につきまして、以下のとおり御報告申し上げます。

【実施日時】

令和3年1月8日 10時00分～12時25分

【会場】

郡山市中町5-17 中町スペース3階
公益社団法人郡山青年会議所事務局

【立会人】

公益社団法人郡山青年会議所 理事長 柳沼克郎
公益社団法人郡山青年会議所 専務理事 川村憲司
公益社団法人郡山青年会議所 事務財政局特別局長 松川義行
公益社団法人郡山青年会議所 事務財政局局長 本多利幸
公益社団法人郡山青年会議所 事務財政局次長 久保田雄大
公益社団法人郡山青年会議所 事務財政局次長 増子千晶

【監査実施者】

公益社団法人郡山青年会議所 監事 佐藤怜
公益社団法人郡山青年会議所 監事 大槻俊介

【備考】

公益社団法人郡山青年会議所標準監査手続に準じて執り行った。

業務監査調書

作成者	代表
佐藤 裕 令和3年1月8日	大槻 俊介 令和3年1月8日

抽出基準内訳

①異常取引説明 ②会計処理上 ③内部統制上 ④予算統制上 ⑤その他

NO		抽出基準	監査指摘事項	顛末	回答者
1	2020年度例会開催報告	③	例会会場費の立替金の精算が例会終了後3か月後などが見受けられる。精算は事業終了後速やかに実施すること。	精算は終了しているが、次年度へ引継ぎを実施する。	専務理事 川村憲司
2	2020年度例会開催報告	②	7月例会の修正予算書のビューホテルの見積書は、会場変更になったため不要。	ファイリングから取り外した。	専務理事 川村憲司
3	2020年度例会開催報告	③	意見と対応について、意見なしの場合は意見と対応欄にそれぞれ「なし」と記載し、追記した場合は押印すること。	該当箇所を追記し、押印した。	専務理事 川村憲司
4	総務委員会開催報告	③	第24回開催報告書の開催日とWEBスケジュールの開催日が相違している。	正しい日付に修正した。	専務理事 川村憲司
5	広報誌発刊	②	修正計画書の予算総額と修正予算書の金額が相違している。修正予算書が誤っている。	正しい修正予算書をファイリングした。	専務理事 川村憲司
6	広報誌発刊	③	資料は議案書の順番通りにファイリングすること。	正しい順番でファイリングした。	専務理事 川村憲司
7	32万人の大合唱プロジェクト	②	予算書の支払先について、正式な名称を記載すること。	正しい予算書をファイリングした。	専務理事 川村憲司
8	32万人の大合唱プロジェクト	②	支払申請用紙の支払先と領収書の宛名は合わせること。	正しい宛名に修正した。	専務理事 川村憲司

令和3年1月8日

会計監査調書

作成者	代表
大槻 俊介 令和3年1月8日	佐藤 侖 令和3年1月8日

抽出基準内訳

①異常取引説明 ②会計処理上 ③内部統制上 ④予算統制上 ⑤その他

NO	抽出基準	監査指摘事項	顛末	回答者
1		指摘事項なし		
2				
3				
4				
5				

第3号議案

「公益社団法人郡山青年会議所創立60周年記念式典・祝賀会全員登録(案)」承認の件

1. 事業実施に至る背景

2021年度は公益社団法人郡山青年会議所創立60周年の記念すべき年度となっている。このような重要な年度であるからこそ、記念式典にて現役会員が全員登録をおこない、当青年会議所が現在まで積み上げてきた歴史を対内外に発信し、今まで以上にJC運動・活動への共感や我々自身の意識の高揚を図ることが必要である。

2.

実施日時:2021年6月(予定)

実施場所・会場:福島県郡山市内

2. 内容

公益社団法人郡山青年会議所創立60周年記念式典及び祝賀会にて現役会員の全員登録をおこなう。

※全員登録とは登録料の支払いも含むものである。

尚、祝賀会費が登録料と一体の場合はその支払いも含む。

第4号議案

「2021年度福島ブロック大会in相馬並びに東北青年フォーラムin郡山全員登録(案)」承認の件

1. 事業実施に至る背景

2021年度は東北青年フォーラムin郡山が開催される予定となっている。このような重要な年度であるからこそ、東北青年フォーラム並びに福島ブロック大会に関しては、現役会員が全員登録し、当青年会議所の大会に賭ける覚悟を東北中の青年会議所メンバーへ示す必要がある。

2. 対象となる遠征事業

遠征事業名・実施場所

福島ブロック大会in相馬・福島県相馬市

東北青年フォーラムin郡山・福島県郡山市

3. 内容

福島ブロック大会in相馬並びに東北青年フォーラムin郡山の遠征事業について、現役会員全員で登録を行う。また、東北青年フォーラムin郡山においては、ウェルカムナイト及び大懇親会費も含む。

※全員登録とは登録料の支払いも含むものである。

尚、ウェルカムナイト費や大懇親会費が登録料と一体の場合はその支払いも含む。

会 員 異 動

(2021年1月1日現在)

2021年度 正会員数 60 名

(内訳)

・2020年度会員	68 名	
・2020年度退会会員	5 名	高縁貴彦・鈴木孝・本間亮平・渡邊晃・渡邊正彦
・2020年度卒業生	14 名	
・2021年度新入会員	11 名	

計 60

2021年度 OB会員数 434 名

(内訳)

・2020年度シニア会員	121 名	
・物故会員	3 名	片田隆雄・高野勝重・平田文男
・2020年度退会会員	1 名	佐藤嘉重
・2021年度新シニア会員	2 名	

計 119

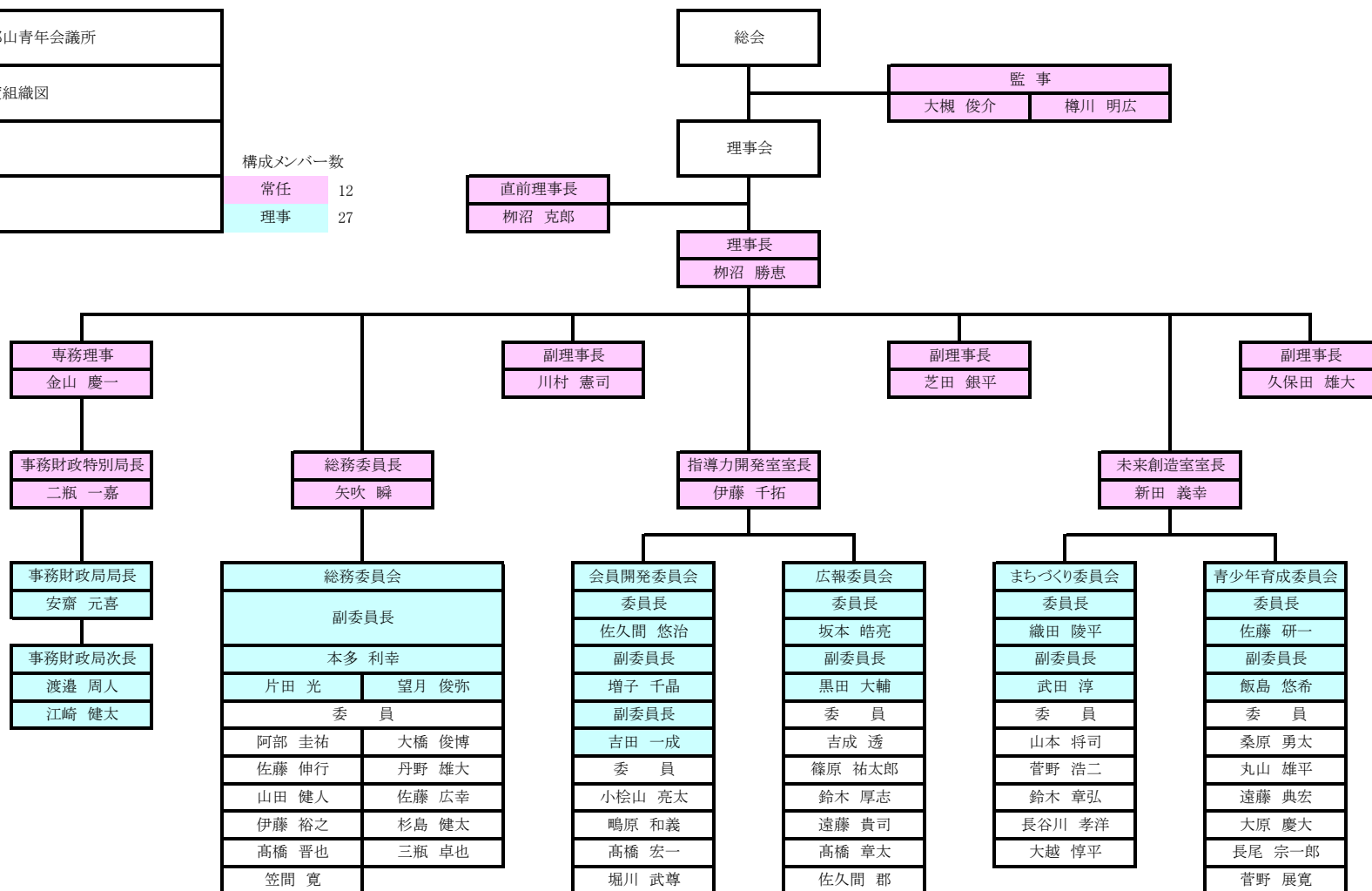
・2020年度OB会員	307 名	
・物故会員	2 名	高松宏隆・森田清一
・2020年度退会会員	2 名	橋本修一・大河内康一
・2021年度新シニア会員	2 名	
・2021年度新OB会員	14 名	

計 315

(敬称略)

2021年度会員合計数 494 名

公益社団法人郡山青年会議所	
2021年度組織図	
構成メンバー数	
常任	12
理事	27



2021年度 特別委員会

選挙管理委員会(5名)

大槻 俊介 丸山 雄平 鈴木 厚志 嶋原 和義 渡邊 周人

褒賞委員会(5名)

柳沼 克郎 樽川 明広 川村 憲司 久保田 雄大 安齋 元喜

会員選考委員会(7名)

芝田 銀平 大槻 俊介 伊藤 千拓 佐久間 悠治 小桧山 亮太 大橋 俊博 二瓶 一嘉

2021年度 出向者

日本青年会議所	アカデミー委員会	総括幹事	柳沼 克郎
	アカデミー委員会	委員	菅野 展寛
	JCプログラム推進委員会	委員	丸山 雄平

東北地区協議会	規則審査室	室長	新田 義幸
---------	-------	----	-------

福島ブロック協議会		監査担当役員	大槻 俊介
	総務委員会	委員	長尾 宗一郎
	ブロック大会実行委員会	委員	江崎 健太
	ふくしまの未来創造委員会	委員	高橋 章太
	アカデミー委員会	委員	阿部 圭祐
	アカデミー委員会	委員	堀川 武尊